

令和6年度 バス利用者アンケート調査結果

目 次

1	調査の実施	2
2	アンケート調査結果 <大竹・栗谷線バス>	
	質問1 回答者（大竹・栗谷線バス利用者）の属性	4
	質問2 普段の大竹・栗谷線バスの利用について	7
	質問3 大竹・栗谷線バスの満足度などについて	11
3	アンケート調査結果 <坂上線バス>	
	質問1 回答者（坂上線バス利用者）の属性	12
	質問2 普段の坂上線バスの利用について	15
	質問3 坂上線バスの満足度などについて	19
4	アンケート調査結果 <こいこいバス>	
	質問1 回答者（こいこいバス利用者）の属性	20
	質問2 普段のこいこいバスの利用について	26
	質問3 こいこいバスの満足度や要望について	30
	調査票	34

令和6（2024）年 12 月

1 調査の実施

(1) 調査の目的

大竹・栗谷線バス、坂上線バス、こいこいバスの利用実態や問題等の把握を目的に、それぞれの利用者を対象にアンケート調査を実施した。

(2) 調査の設計

①調査対象

大竹・栗谷線バス、坂上線バス、こいこいバスの利用者

②調査方法・期間

○大竹・栗谷線バス、坂上線バス

- ・9/30（月）～10/13（日）に、調査票を車内に配置して利用者自身で受け取る
- ・回収は、郵送・WEBまたは回収箱（バス車内・市役所・各支所に設置）
- ・11/25（月）、11/26（火）に、調査員が車内で聞き取り、アンケート調査に記入

○こいこいバス

- ・9/30（月）、10/1（火）、10/2（水）に、調査員が車内で調査票を手渡し配布
- ・10/3（木）～10/13（日）に、調査票を車内に配置して利用者自身で受け取る
- ・回収は、郵送・WEBまたは回収箱（バス車内・市役所・各支所に設置）

③主な調査項目

- 回答者の属性（性別、年齢、居住地域など）
- 普段の利用状況
- 満足度
- 今後の利用意向
- 意見や要望

(3) 調査票の配布・回収状況

表 配布件数・有効回答件数

路線名	配布件数(件)	有効回答	
		回収数(件)	回収率(%)
大竹・栗谷線バス	43	21	48.8
坂上線バス	60	52	86.7
こいこいバス	543	245	45.1

*大竹・栗谷線バス、坂上線バスの配布件数には聞き取り件数含む

(4) 本報告書の数値の取り扱い等

- 図中の「N」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。
- 2つの選択肢を集約した場合（「非常に満足」と「満足」を合計した『満足』など）は、当該選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

2 アンケート調査結果 <大竹・栗谷線バス>

質問1 回答者（大竹・栗谷線バス利用者）の属性

①性別・年齢 <大竹・栗谷線バス>

○性別は、「女性」が76.2%、「男性」が23.8%となっており、圧倒的に女性の割合が高い。
 ○年齢は、「70歳代」が33.3%で最も多く、次いで「80歳以上」が23.8%となっており、70歳以上が約57%を占めている。
 ○50歳代以下の利用者も一定数おり、幅広い年齢層で利用されている。

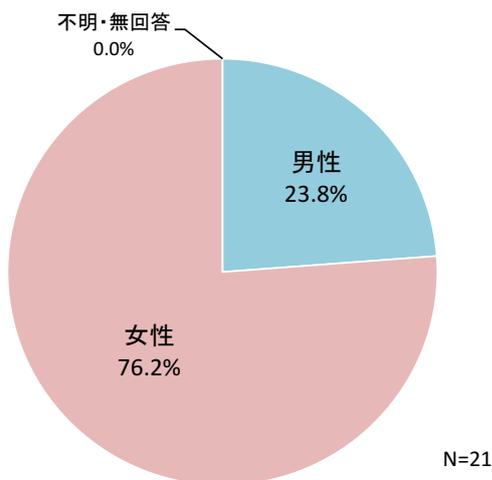


図 性別<大竹・栗谷線バス>

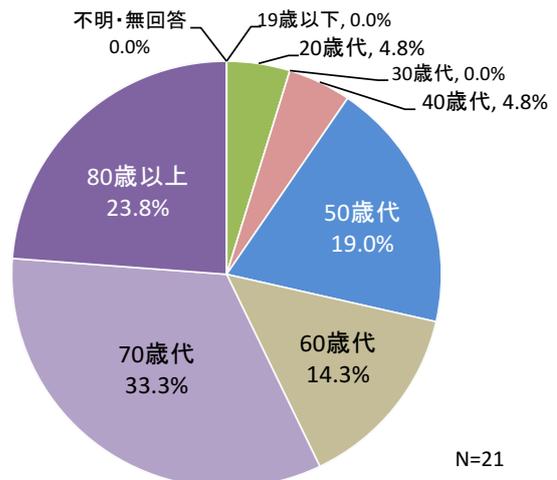


図 年齢<大竹・栗谷線バス>

②世帯構成・職業 <大竹・栗谷線バス>

○世帯構成は、「ひとり暮らし」が38.1%で最も多く、次いで「夫婦のみ」と「二世帯（親と子）」が同率（28.6%）となっている。
 ○職業は、「無職」が42.9%で最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が28.6%となっている。

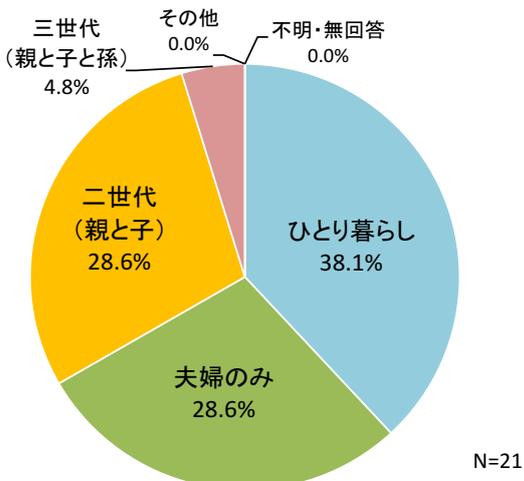


図 世帯構成<大竹・栗谷線バス>

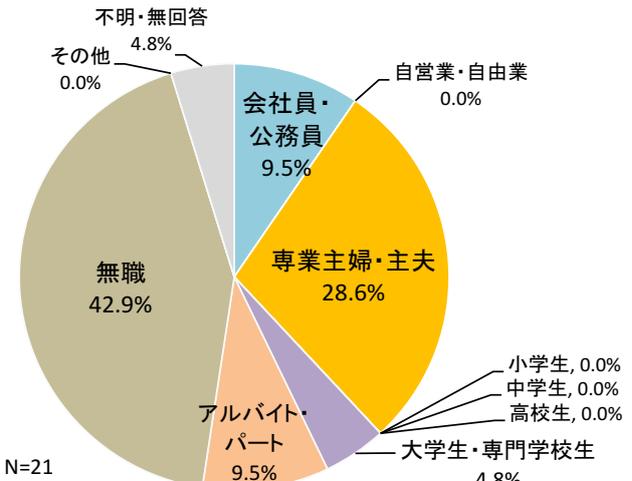


図 職業<大竹・栗谷線バス>

③居住地 <大竹・栗谷線バス>

○居住地は、大竹市に住む方が約8割を占めている。市内の地域別では「栗谷地域」(8件)が最も多く、次いで「玖波地域」(7件)となっている。

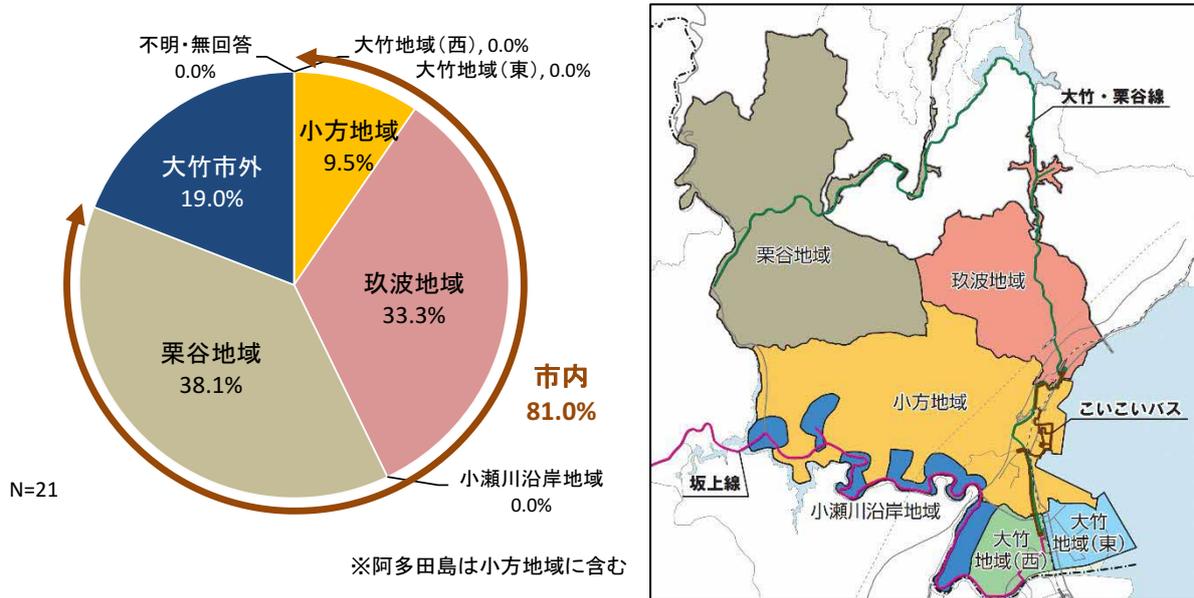


図 居住地<大竹・栗谷線バス>

表 居住地(詳細)<大竹・栗谷線バス>

地域区分	地区	件数
栗谷地域	栗谷町後谷	2
	栗谷町大栗林	2
	栗谷町(地区不明)	4
玖波地域	松ヶ原町	5
	玖波町	2
小方地域	立戸	1
	御幸町	1
(大竹市外)	広島市	3
	廿日市市	1
合計		21

④運転免許の保有状況 <大竹・栗谷線バス>

○運転免許は、「持っていない」が42.9%で最も多く、「返納した」(23.8%)と合わせると約67%が運転免許を保有していない。

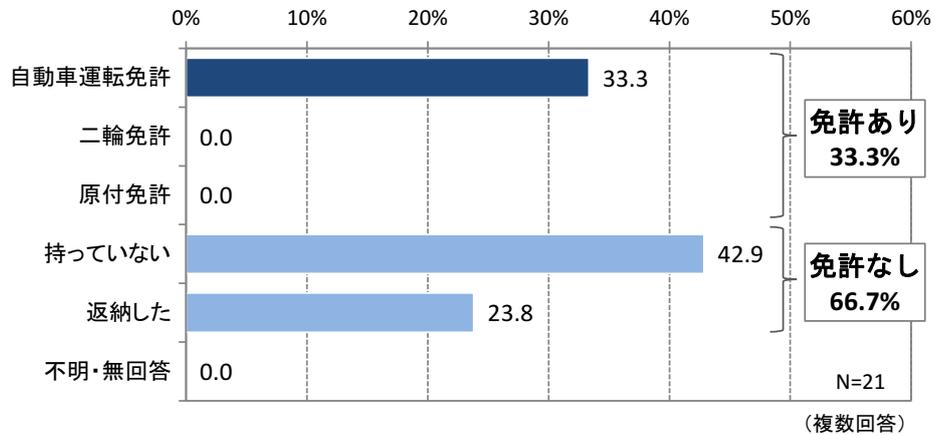


図 運転免許の保有状況<大竹・栗谷線バス>

⑤自家用車の保有状況 <大竹・栗谷線バス>

○自動車の保有状況は、「自家用車はない」が57.1%で最も多く、過半数を占めている。

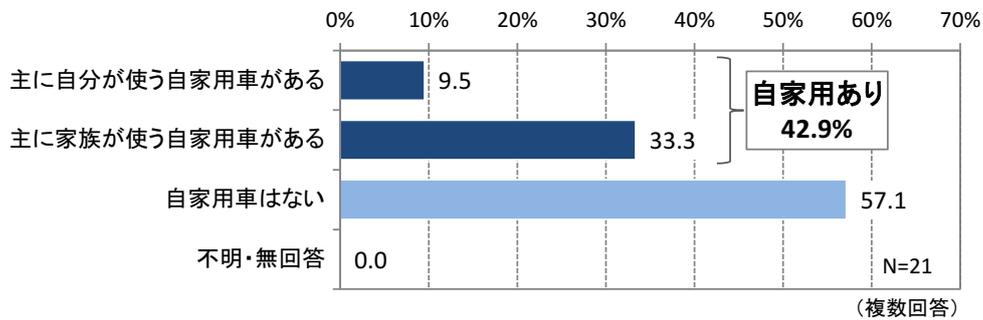


図 自家用車の保有状況<大竹・栗谷線バス>

質問2 普段の大竹・栗谷線バスの利用について

①大竹・栗谷線バスの利用頻度

質問2①「大竹・栗谷線」をどの程度利用しますか。(1つに〇)

○「月2～3日」が38.1%で最も多く、次いで「週に1～2日」が23.8%となっている。『週1日以上』（「概ね毎日」～「週に1～2日」の合計）利用している人は約33%となっている。
 ○平成30年調査と比べると、『週1日以上』の割合が4.2ポイント減少している。

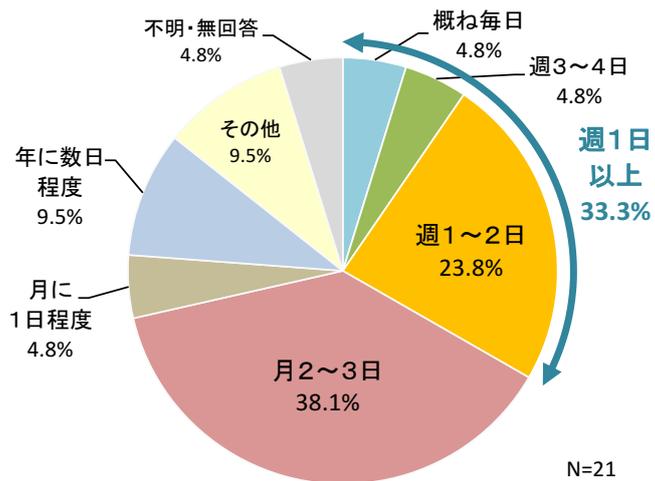


図 大竹・栗谷線バスの利用頻度

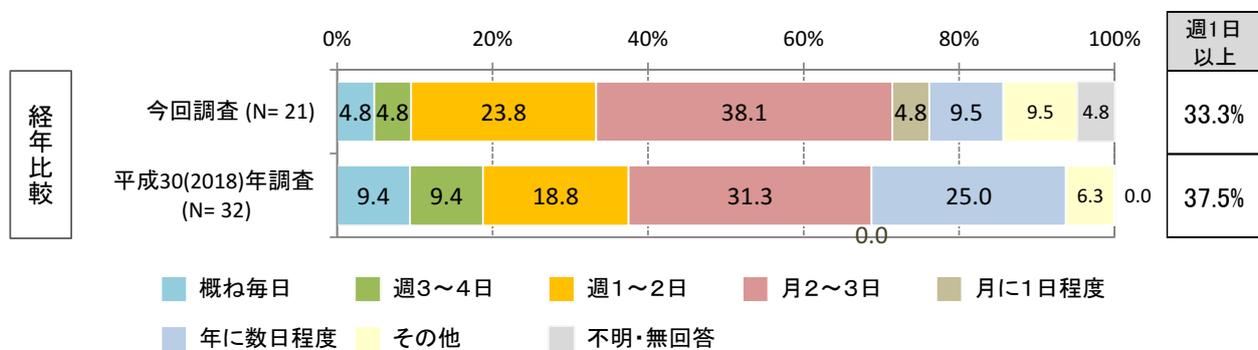


図 大竹・栗谷線バスの利用頻度 [経年比較]

②大竹・栗谷線バスの主な利用目的

質問2②「大竹・栗谷線」を利用するときの主な目的は何ですか。(2つまでに○)

○「買い物」と「通院・看護」が同率(42.9%)で最も多く、次いで「登山・山歩き」が14.3%となっている。

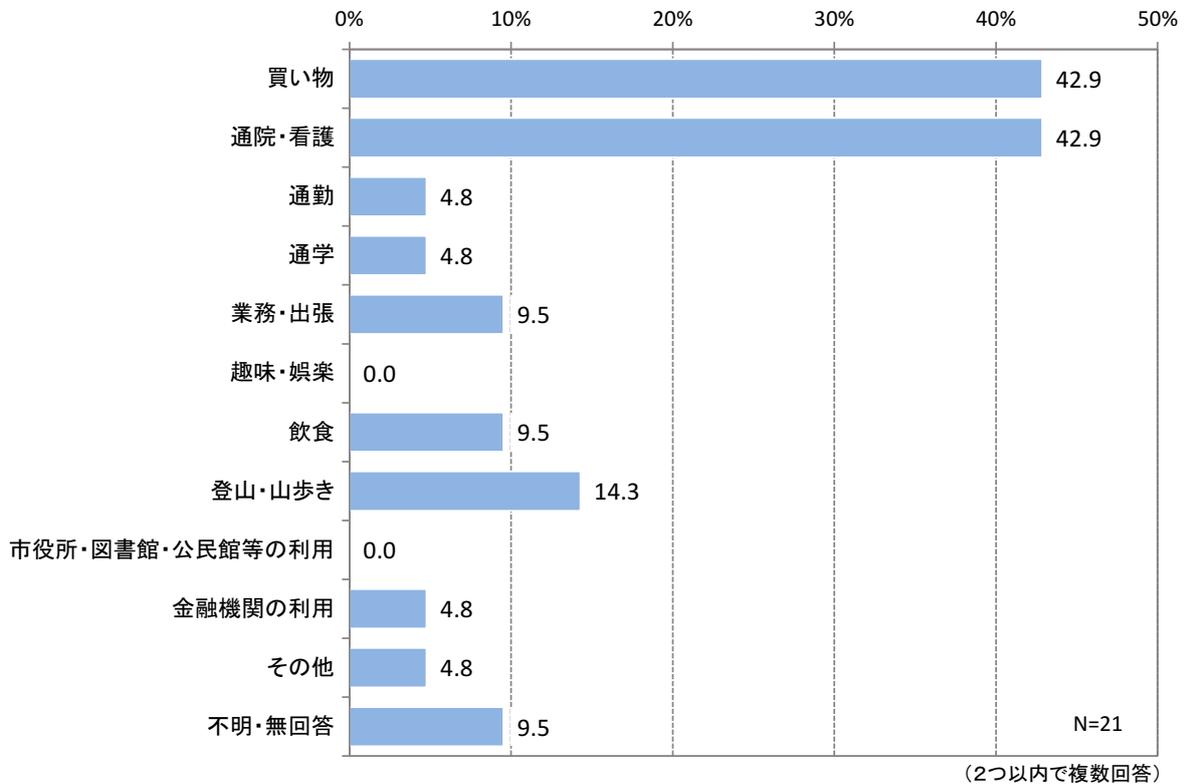


図 大竹・栗谷線バスの主な利用目的

③大竹・栗谷線バスを利用してよく訪れる目的地（複数回答）

質問2③「大竹・栗谷線」を利用して、訪れる目的地（行き先）はどこですか。（1箇所だけ）
 ※鉄道に乗り継いで目的地へ行く方は、「大竹駅」、「玖波駅」のいずれかをお書きください。

○目的地は「玖波駅」が最も多く、40%を占めている。次いで、「ゆめタウン大竹」が多い。

図 大竹・栗谷線バスを利用してよく訪れる主な目的地

主な目的地	回答数	(割合)
玖波駅	8	40.0%
ゆめタウン大竹	3	15.0%
大竹駅	2	10.0%
その他(回答が1件のもの)	7	35.0%
合計(回答者数)	20	100.0%

④大竹・栗谷線バスで利用の多いバス停

質問2④どこの「バス停」から、どこの「バス停」までの利用が多いですか。（記述回答）

○自宅に近いバス停は、「玖波駅」「杉の原」「下松が原」「蛇喰口」「大三郎口」がそれぞれ2件となっている。
 ○行き先に近いバス停は、「玖波駅」が最も多く、約43%を占めている。

表 利用の多いバス停（2件以上）＜大竹・栗谷線バス＞

自宅に近い方のバス停名	回答数	(割合)	行き先に近い方のバス停名	回答数	(割合)
玖波駅	2	9.5%	玖波駅	9	42.9%
杉の原	2	9.5%	大竹駅	3	14.3%
下松が原	2	9.5%			
蛇喰口	2	9.5%			
大三郎口	2	9.5%			
その他(回答が1件のもの)	6	28.6%	その他(回答が1件のもの)	6	28.6%
不明・無回答	5	23.8%	不明・無回答	3	14.3%
合計(回答者数)	21	100.0%	合計(回答者数)	21	100.0%

※2件以上のみバス停名を表示

⑤自宅から大竹・栗谷線バスの最寄りバス停までの距離

質問2⑤ご自宅から、最寄りの「大竹・栗谷線」のバス停までの距離は？（1つに○）

○「おおよそ徒歩で3分以内」が38.1%で最も多く、次いで「おおよそ徒歩で10分以内」が23.8%となっており、利用者の約76%は徒歩で10分以内の居住者となっている。

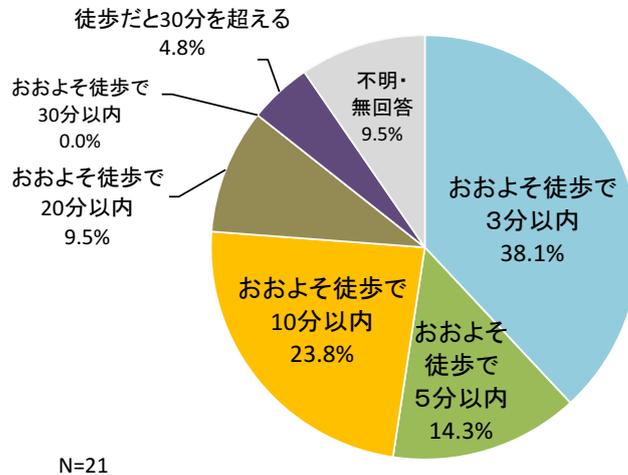


図 自宅から最寄りバス停までの距離<大竹・栗谷線バス>

⑥今後の大竹・栗谷線バスの利用意向

質問2⑥今後も、「大竹・栗谷線」を利用しますか。（1つに○）

○「つづけて利用する」が90.5%で最も多く、9割以上が今後も利用の意向を示している。

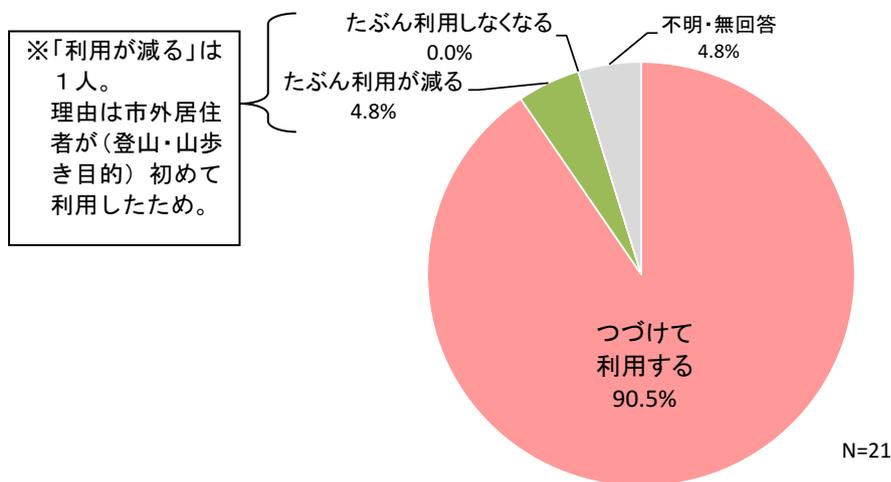


図 今後の大竹・栗谷線バスの利用意向

質問3 大竹・栗谷線バスの満足度などについて

①大竹・栗谷線バスの満足度

質問3①「大竹・栗谷線」の満足度について教えてください。(1つに○)

○大竹・栗谷線バスの満足度は、『満足』（「非常に満足」と「満足」の合計）割合は約57%となっており、『不満』（「不満」と「非常に不満」の合計）の割合を大きく上回っている。
 ○平成30年調査と比較すると、『満足』が36.7ポイント減少し、「どちらともいえない」が27ポイント増加している。

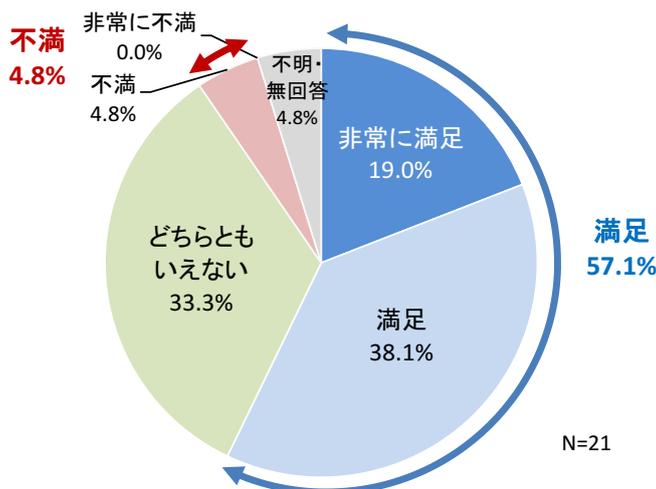


図 大竹・栗谷線バスの総合的な満足度

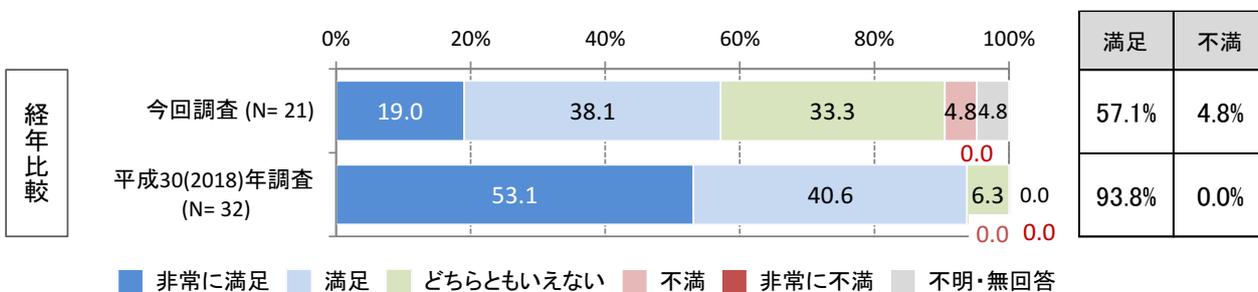


図 大竹・栗谷線バスの満足度 [経年比較]

②大竹・栗谷線バスへの不満や要望

質問3②「大竹・栗谷線」を不満に思う内容やご要望などがあれば、具体的にご記入ください。

○10名のうち6名から存続を希望する意見があげられた。

[要望や意見 (複数回答)]

- 不満なし、存続を希望 6件
- 増便の要望 2件
- その他 2件 (デマンド型乗合タクシーの導入要望、高齢者優待割引の導入要望)

3 アンケート調査結果 <坂上線バス>

質問1 回答者（坂上線バス利用者）の属性

①性別・年齢 <坂上線バス>

○性別は、「女性」が73.1%、「男性」が26.9%となっており、圧倒的に女性の割合が高い。
 ○年齢は、「70歳代」が36.5%で最も多く、次いで「60歳代」が23.1%となっており、60歳代以上が約65%を占めている。
 ○50歳代以下の利用者も一定数おり、幅広い年齢層で利用されている。

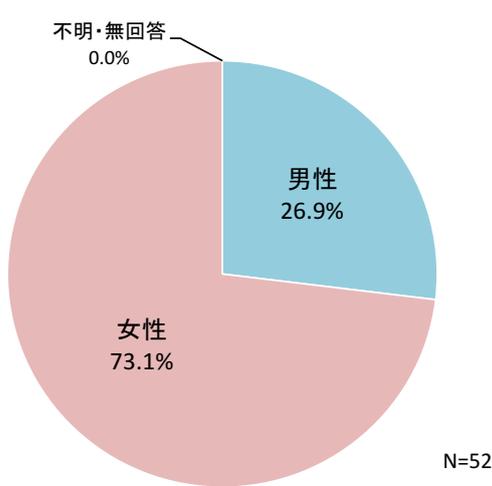


図 性別<坂上線バス>

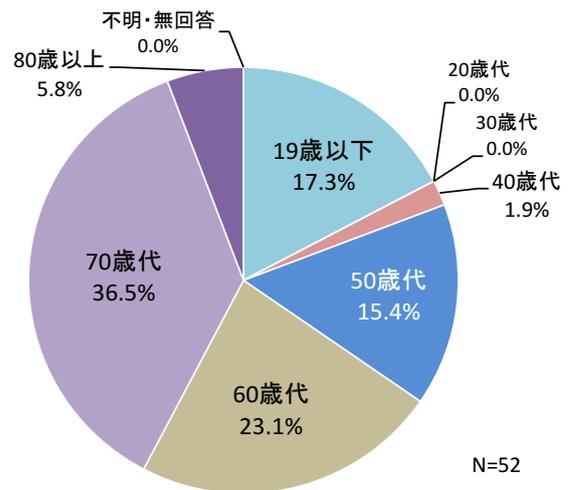


図 年齢<坂上線バス>

②世帯構成・職業 <坂上線バス>

○世帯構成は、「二世帯（親と子）」が38.5%で最も多く、次いで「ひとり暮らし」と「夫婦のみ」が同率（25.0%）となっている。
 ○職業は、「無職」が34.6%で最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が26.9%となっている。

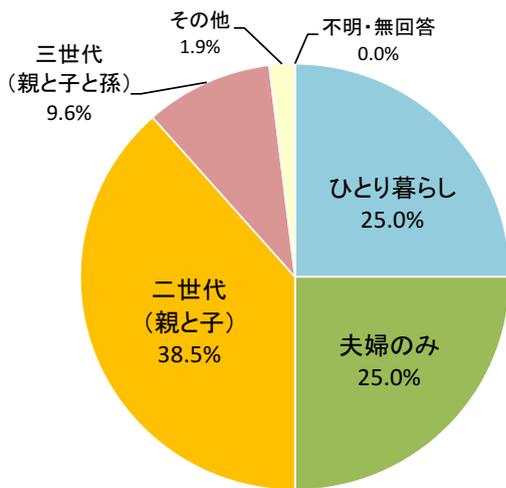


図 世帯構成<坂上線バス>

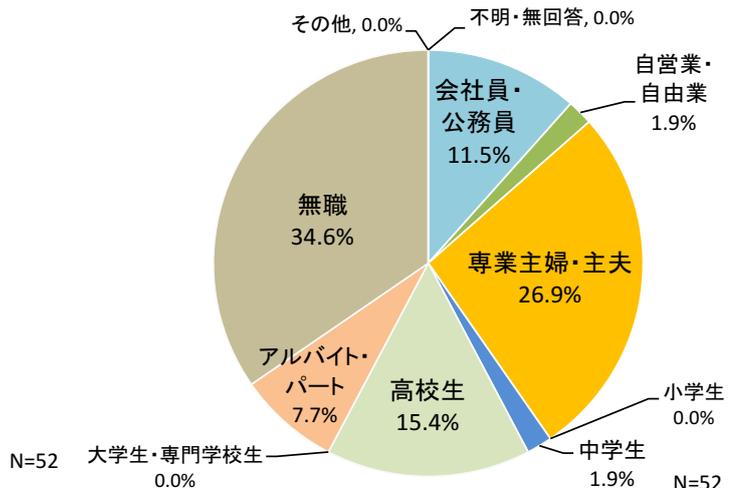


図 職業<坂上線バス>

③居住地 〓坂上線バス

〇居住地は、大竹市外に住む方が約 64%を占めている。市内の地域別では「小瀬川沿岸地域」(10件)が最も多く、次いで「大竹地域(西)」(8件)となっている。

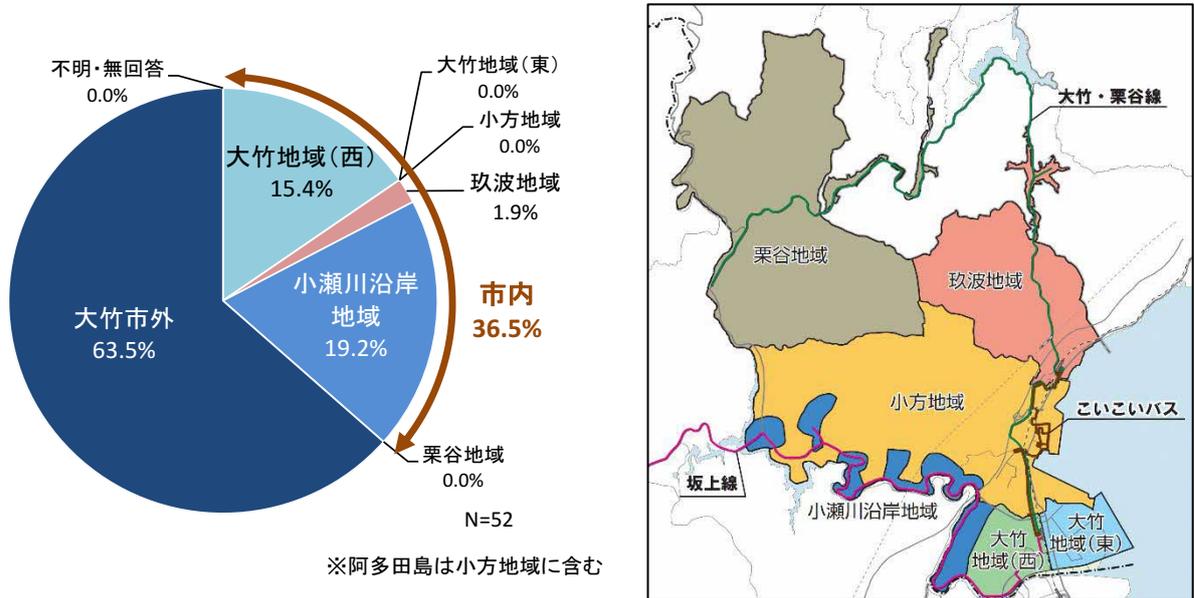


図 居住地<坂上線バス>

表 居住地(詳細)<坂上線バス>

地域区分	地区	件数
小瀬川沿岸地域	木野	8
	防鹿	1
	比作	1
大竹地域(西)	元町	3
	本町	2
	白石	2
	新町	1
玖波地域	玖波	1
(大竹市外)	岩国市	27
	広島市	4
	廿日市市	1
	東広島市	1
合計		52

④運転免許の保有状況 <坂上線バス>

○運転免許は、「持っていない」が55.8%で最も多く、「返納した」(17.3%)と合わせると約73%が運転免許を保有していない。

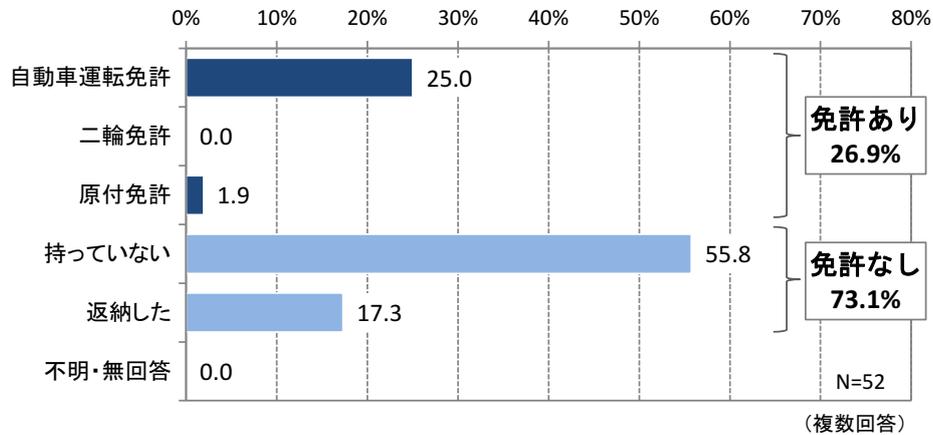


図 運転免許の保有状況<坂上線バス>

⑤自家用車の保有状況 <坂上線バス>

○自動車の保有状況は、「自家用車はない」が53.8%で最も多く、過半数を占めている。

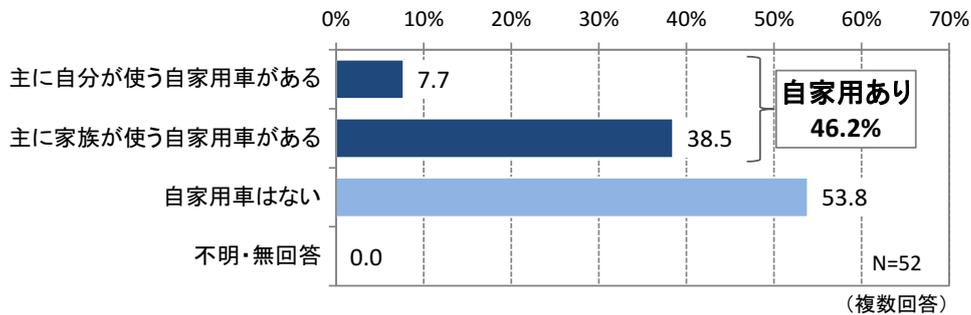


図 自家用車の保有状況<坂上線バス>

質問2 普段の坂上線バスの利用について

①坂上線バスの利用頻度

質問2①「坂上線」をどの程度利用しますか。(1つに○)

○「月2～3日」が28.8%で最も多く、以下「週に1～2日」(25.0%)、「週3～4日」(21.2%)と続いている。『週1日以上』(「概ね毎日」～「週に1～2日」の合計)利用している人は約60%となっている。

○平成30年調査と比べると、『週1日以上』の割合が7.1ポイント減少している。

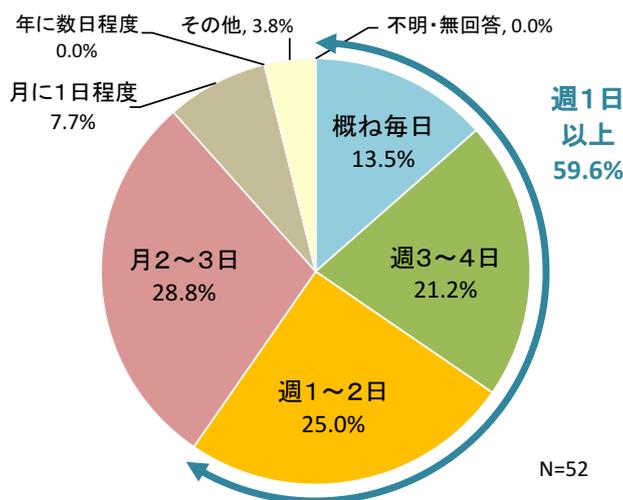


図 坂上線バスの利用頻度

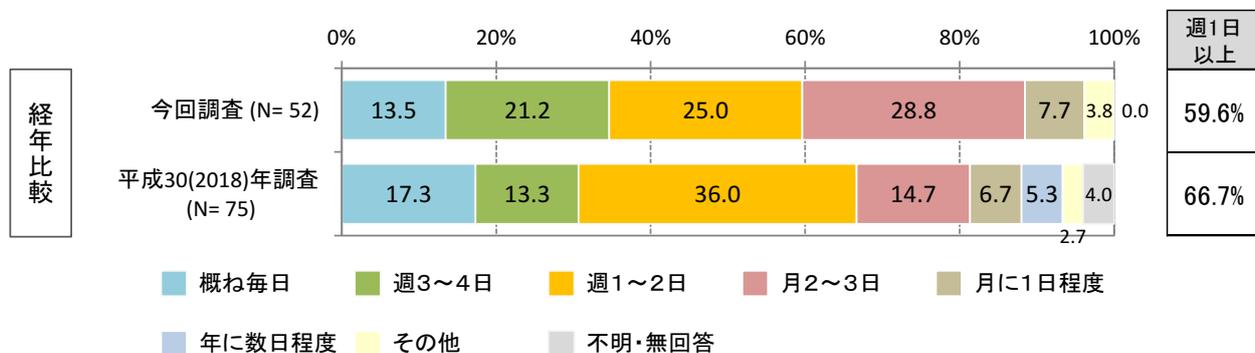
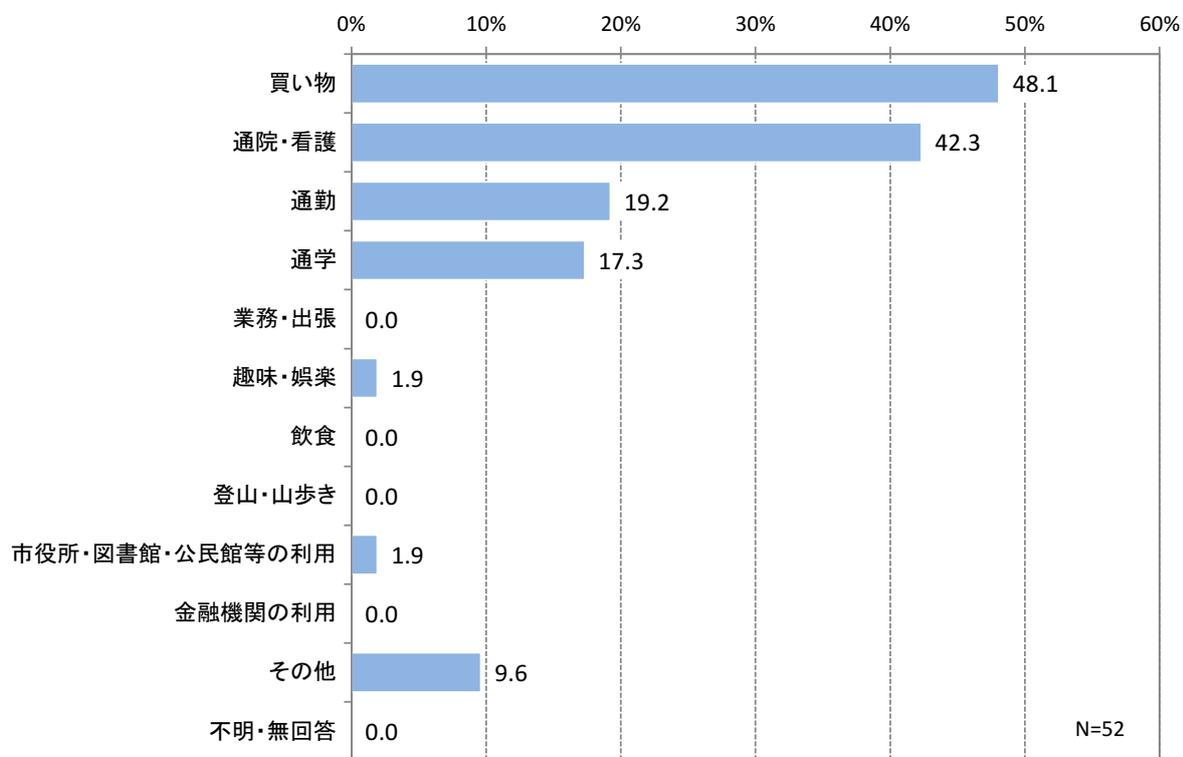


図 坂上線バスの利用頻度 [経年比較]

②坂上線バスの主な利用目的

質問2②「坂上線」を利用するときの主な目的は何ですか。(2つまでに○)

○「買い物」が48.1%で最も多く、次いで「通院・看護」が42.3%となっている。



(2つ以内で複数回答)

図 坂上線バスの主な利用目的

③坂上線バスを利用してよく訪れる目的地（複数回答）

質問2③「坂上線」を利用して、訪れる目的地（行き先）はどこですか。（1箇所だけ）

※鉄道に乗り継いで目的地へ行く方は、「大竹駅」、「玖波駅」のいずれかをお書きください。

○目的地は「大竹駅」が最も多く、約58%を占めている。次いで、「ゆめタウン大竹」が多い。

図 坂上線バスを利用してよく訪れる主な目的地

主な目的地	回答数	(割合)
大竹駅	30	57.7%
ゆめタウン大竹	6	11.5%
岩国市	4	7.7%
サンマート美和店	2	3.8%
大竹小学校	2	3.8%
その他(回答が1件のもの)	8	15.4%
合計(回答者数)	52	100.0%

④坂上線バスで利用の多いバス停

質問2④どこの「バス停」から、どこの「バス停」までの利用が多いですか。（記述回答）

○自宅に近いバス停は、「中津原」（8件）が最も多く、以下「大竹駅」（7件）、「上佐坂」（5件）と続いている。

○行き先に近いバス停は、「大竹駅」が最も多く、約65%を占めている。

表 利用の多いバス停（2件以上）＜坂上線バス＞

自宅に近い方のバス停名	回答数	(割合)	行き先に近い方のバス停名	回答数	(割合)
中津原	8	15.4%	大竹駅	34	65.4%
大竹駅	7	13.5%	大竹小学校	3	5.8%
上佐坂	5	9.6%	大和橋	3	5.8%
鮎谷	4	7.7%	名坪	3	5.8%
大竹小学校	3	5.8%	鮎谷	2	3.8%
大竹中町	2	3.8%			
大竹上市	2	3.8%			
下中津原	2	3.8%			
前淵渡	2	3.8%			
小川津橋	2	3.8%			
日光寺山団地	2	3.8%			
下佐坂	2	3.8%			
下迫	2	3.8%			
その他(回答が1件のもの)	9	17.3%	その他(回答が1件のもの)	7	13.5%
合計(回答者数)	52	100.0%	合計(回答者数)	52	100.0%

※2件以上のみバス停名を表示

⑤自宅から坂上線バスの最寄りバス停までの距離

質問2⑤ご自宅から、最寄りの「坂上線」のバス停までの距離は？（1つに〇）

〇「おおよそ徒歩で5分以内」が36.5%で最も多く、次いで「おおよそ徒歩で10分以内」が21.2%となっており、利用者の約77%は徒歩で10分以内の居住者となっている。

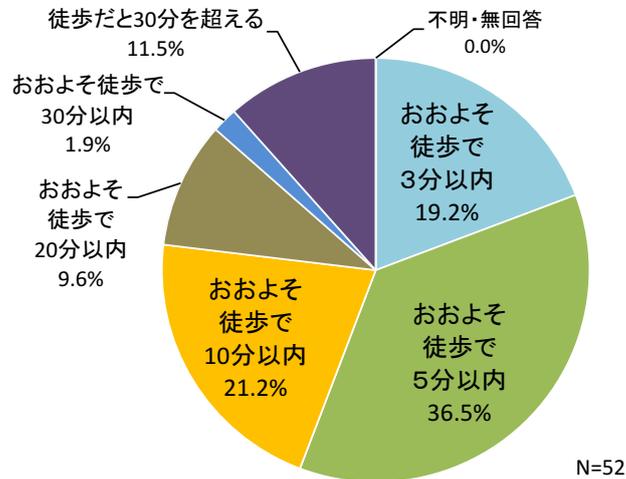


図 自宅から最寄りバス停までの距離<坂上線バス>

⑥今後の坂上線バスの利用意向

質問2⑥今後も、「坂上線」を利用しますか。（1つに〇）

〇「つづけて利用する」が94.2%で最も多く、9割以上が今後も利用の意向を示している。

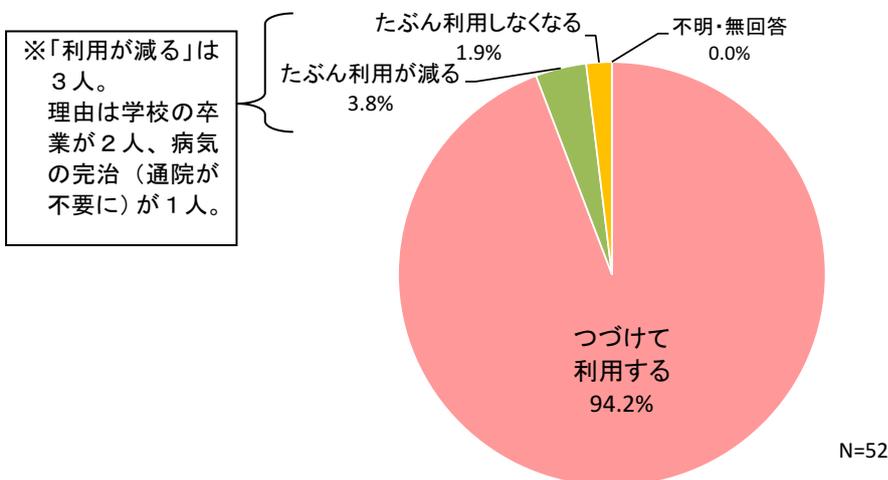


図 今後の坂上線バスの利用意向

質問3 坂上線バスの満足度などについて

①坂上線バスの満足度

質問3①「坂上線」の満足度について教えてください。(1つに○)

○坂上線バスの満足度は、『満足』(「非常に満足」と「満足」の合計)割合は90.4%となっており、『不満』(「不満」と「非常に不満」の合計)と回答した人はいない。
 ○平成30年調査と比較すると、『満足』が15.7ポイント増加している。

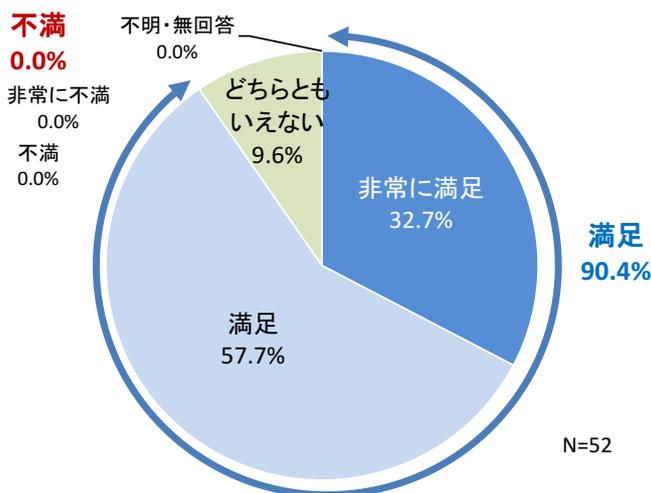


図 坂上線バスの総合的な満足度

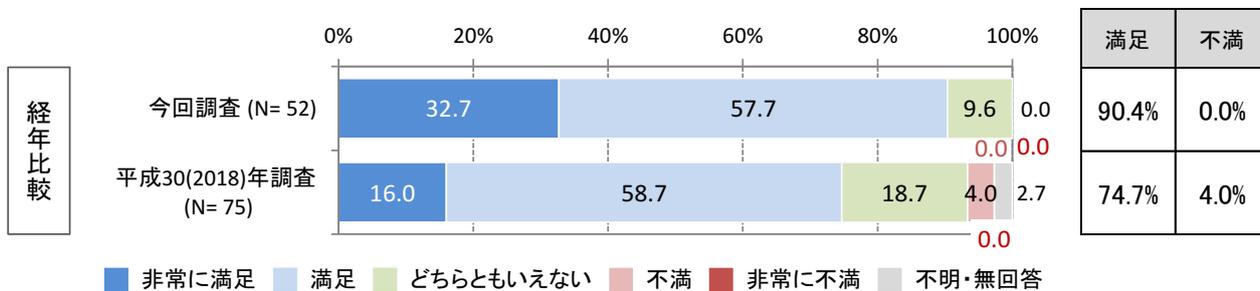


図 坂上線バスの満足度 [経年比較]

②坂上線バスへの不満や要望

質問3②「坂上線」を不満に思う内容やご要望などがあれば、具体的にご記入ください。

○回答のあった25名のうち12名から増便を希望する意見があげられた。

[要望や意見 (複数回答)]

- 増便の要望 12件 (うち土日祝日: 5件、夕方: 3件)
- 不満なし、存続を希望 7件
- その他 8件 (電車との乗継が良くない、料金が低い・割引要望 など)

4 アンケート調査結果 <こいこいバス>

質問1 回答者（こいこいバス利用者）の属性

①性別・年齢 <こいこいバス>

○性別は、「女性」が77.1%、「男性」が22.0%となっており、圧倒的に女性の割合が高い。
 ○年齢は、「80歳以上」が34.3%で最も多く、以下「70歳代」（22.4%）、「60歳代」（13.1%）と続いており、60歳以上をまとめると約70%、また70歳以上では約57%を占めている。
 ○50歳代以下の利用者も一定数おり、幅広い年齢層で利用されている。
 ○年齢別の性別をみると、30歳代をのぞく年代で女性の割合の方が高い。30歳代は同率。

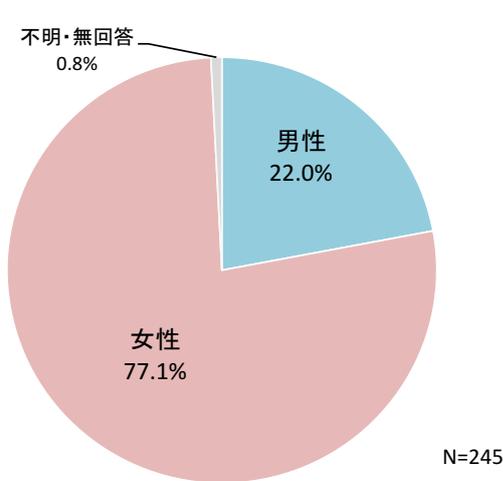


図 性別<こいこいバス>

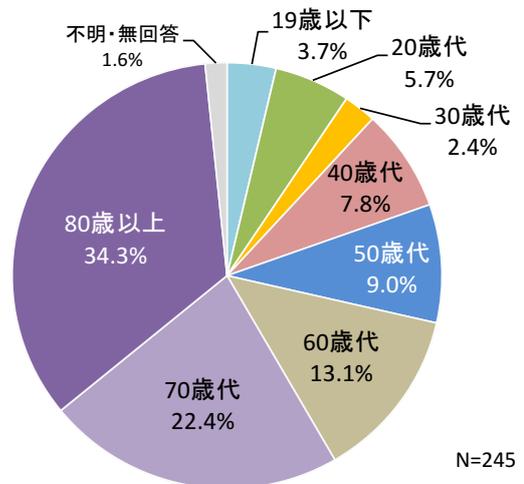


図 年齢<こいこいバス>

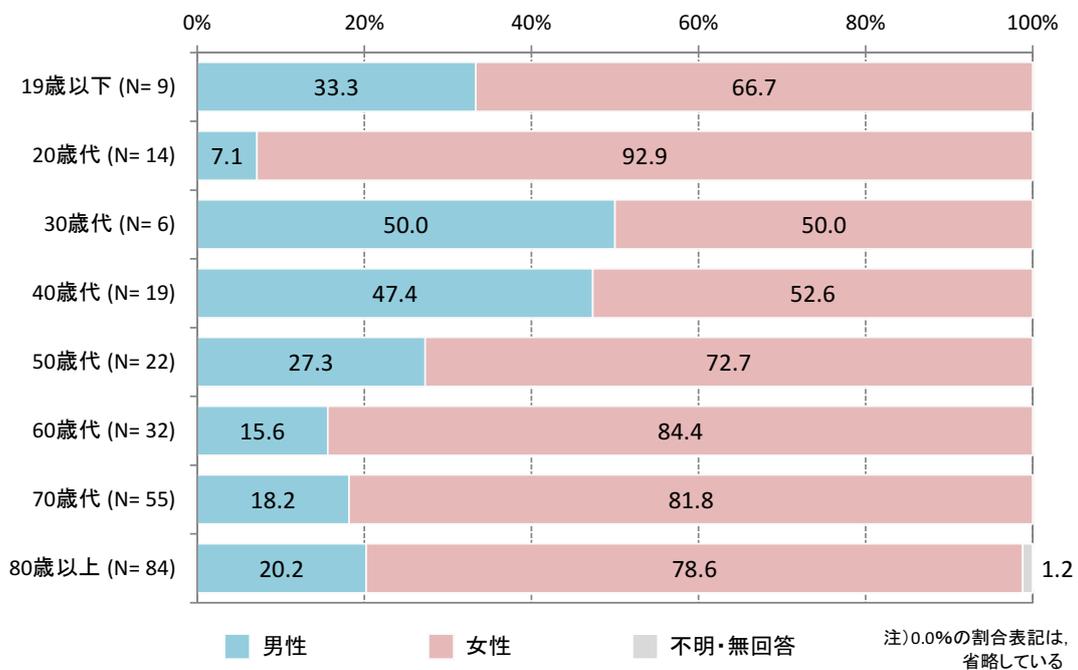


図 性別（年齢別）<こいこいバス>

②世帯構成・職業 <こいこいバス>

○世帯構成は、「二世帯」が31.0%で最も多く、以下「ひとり暮らし」(29.4%)、「夫婦のみ」(28.6%)と続いている。

○職業は、「無職」が48.2%で最も多く、以下「アルバイト・パート」(18.8%)、「会社員・公務員」(13.5%)と続いている。

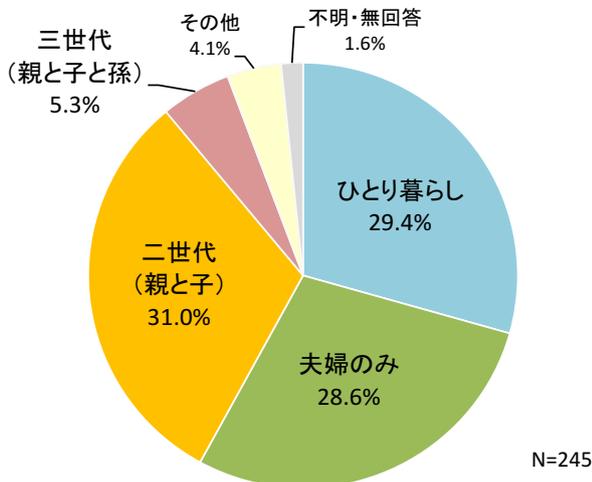


図 世帯構成<こいこいバス>

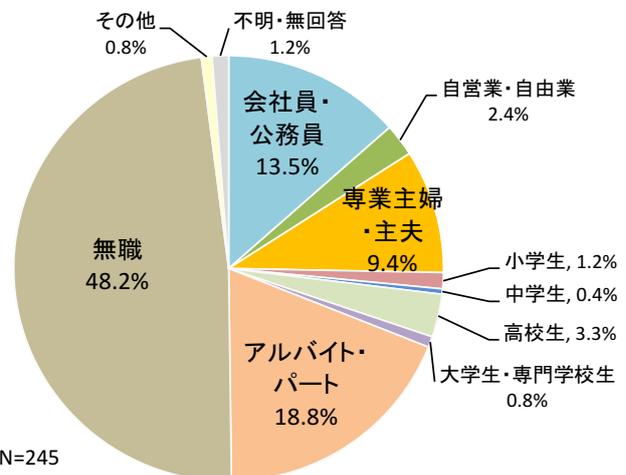
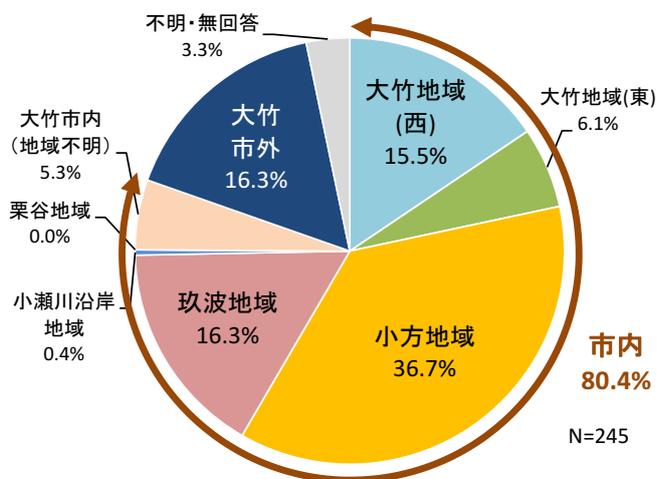


図 職業<こいこいバス>

③居住地域 <こいこいバス>

○居住地域は、大竹市に住む方が約8割を占めている。市内の地域別では「小方地域」が36.7%で最も多く、以下「玖波地域」(16.3%)、「大竹地域(西)」(15.5%)の順となっている。

○市内居住者の内訳では、「玖波」が19.3%で最も多く、以下「小方」(11.7%)、「立戸」(8.6%)と続く。また、運行ルート沿線地区(運行ルートの両側200m幅の中に区域の一部が含まれる地区)の居住者が、市内居住者の76.1%を占めている。



※阿多田島は小方地域に含む



図 居住地<こいこいバス>

表 居住地（詳細）＜こいこいバス＞

地域名		件数	地区	地域区分	件数	地区	地域区分	件数	地区	地域区分	件数
大竹市(不明含む)			玖波	玖波地域	38	新町	大竹地域(西)	7	晴海	小方地域	1
市 外	岩国市(山口県)	15	小方	小方地域	23	西栄	大竹地域(東)	7	東栄	大竹地域(東)	1
	広島市	7	立戸	小方地域	17	南栄	大竹地域(東)	5	玖波町	玖波地域	1
	廿日市市	7	御園	小方地域	16	港町	小方地域	3	松ヶ原町	玖波地域	1
	和木町(山口県)	3	黒川	小方地域	13	白石	大竹地域(西)	3	木野	小瀬川沿岸地域	1
	東京都	2	湯舟町	小方地域	13	北栄	大竹地域(東)	2	市内(地域不明)		13
	柳井市(山口県)	1	本町	大竹地域(西)	12	御園台	小方地域	2			
	下松市(山口県)	1	油見	大竹地域(西)	8	阿多田	小方地域	2			
	市外(不明)	4	元町	大竹地域(西)	8						
	無回答	8									
合計			運行ルート沿線地区			運行ルート沿線地区			150		
						その他地区(不明含む)			47		
						合計			197		

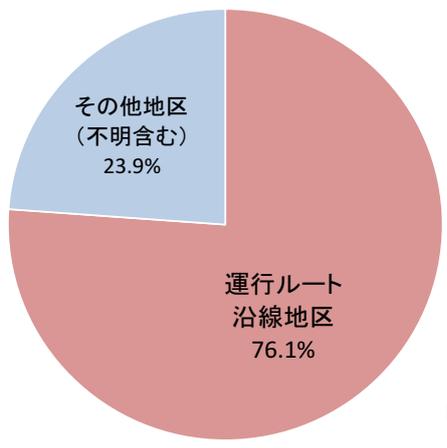


図 市内の居住地（運行ルート別）＜こいこいバス＞

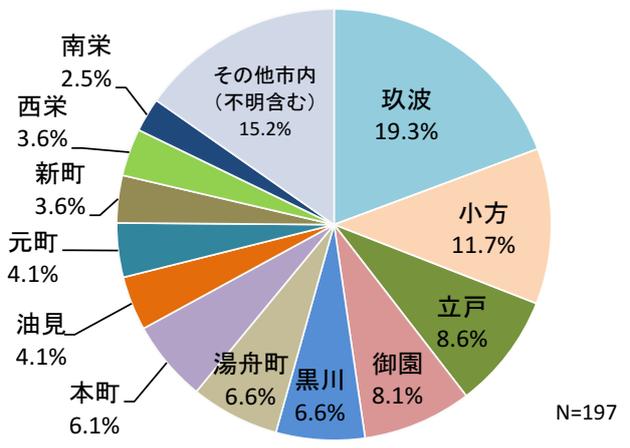


図 市内の居住地（地区別）＜こいこいバス＞

④運転免許の保有状況 <こいこいバス>

- 運転免許は、「持っていない」が44.9%で最も多く、「返納した」(24.1%)と合わせると69%が運転免許を保有していない。
- 『運転免許あり』の割合を性別にみると、男性では50%であるのに対し、女性は約23%である。
- 市内の居住地域別にみると、大竹地域(東)では約87%、大竹地域(西)と玖波地域では75%以上が運転免許を保有していない。

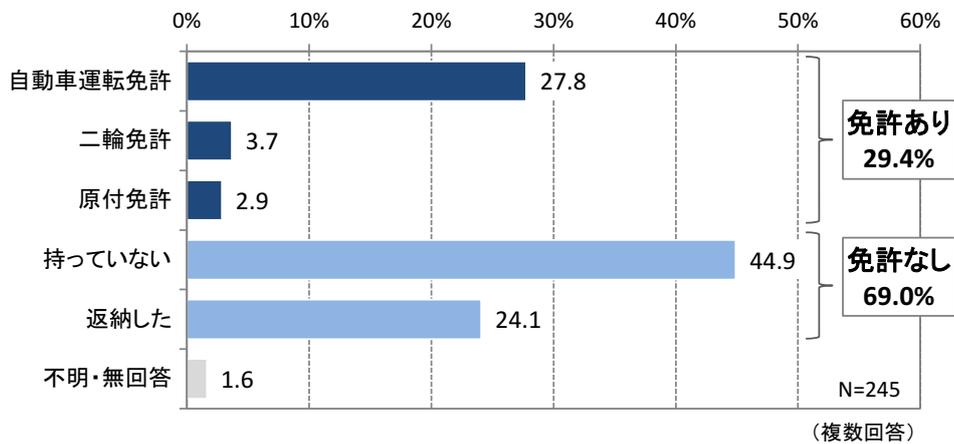


図 運転免許の保有状況<こいこいバス>

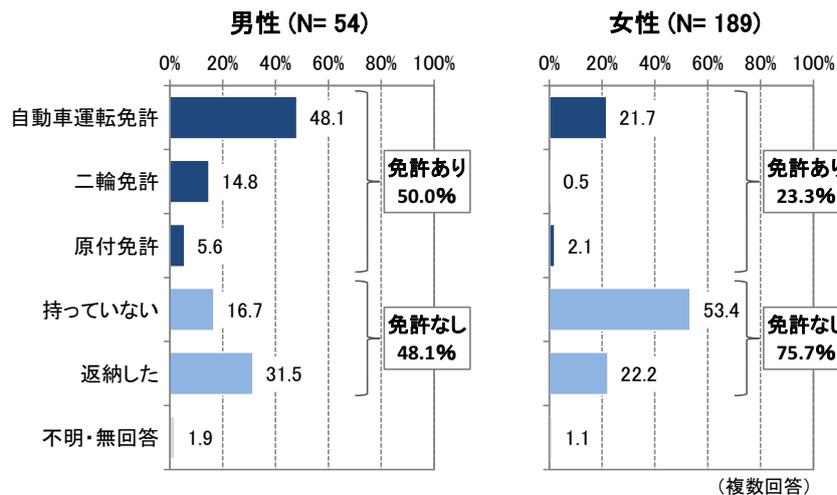


図 運転免許の保有状況(性別)<こいこいバス>

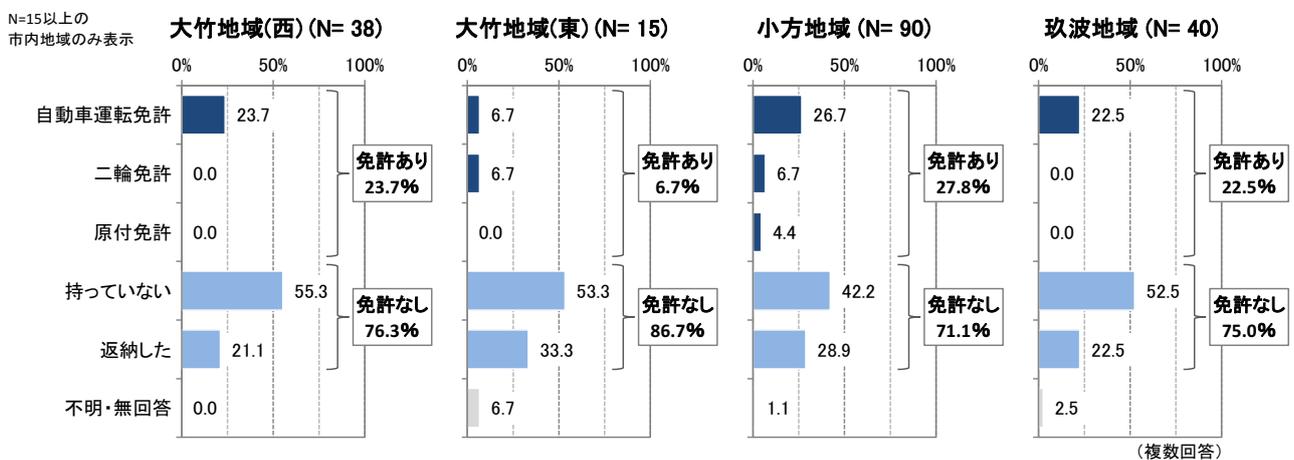


図 運転免許の保有状況(居住地域別 *N=15以上の市内地域のみ)<こいこいバス>

⑤ 自家用車の保有状況 <こいこいバス>

○ 自動車の保有状況は、「自家用車はない」が55.9%で最も多く、過半数を占めている。

○ 市内の居住地域別にみると、大竹地域(東)では約73%、大竹地域(西)と玖波地域では60%以上が「自家用車はない」と回答している。

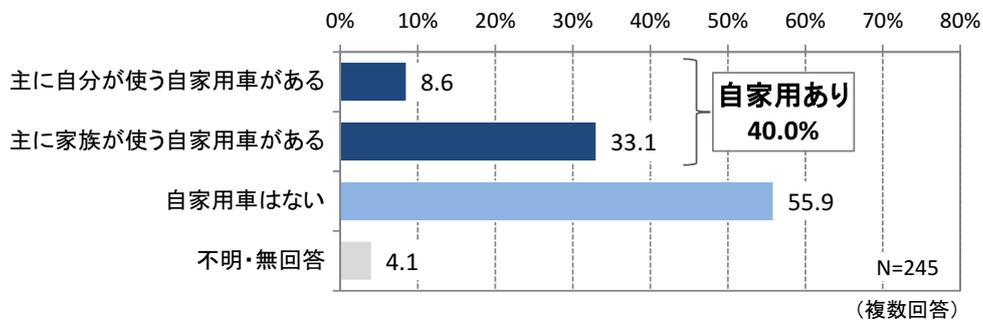


図 自家用車の保有状況<こいこいバス>

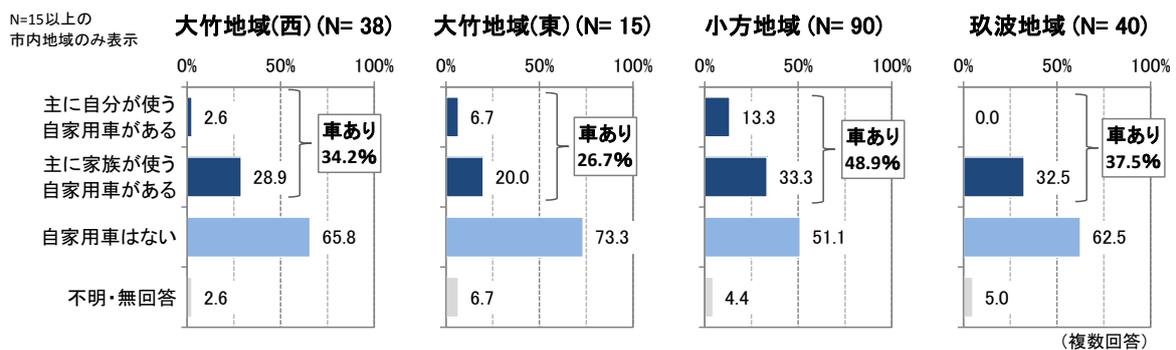


図 自家用車の保有状況 (居住地域別 * N=15 以上の市内地域のみ) <こいこいバス>

⑥交通系 IC カードの保有状況 <こいこいバス>

○交通系 IC カードの保有状況は、「ICOCA」が 44.9%で最も多くなっている。

○年齢別にみると、「ICOCA」を保有している割合は 50 歳代以下では 74.3%であるのに対し、70 歳代では約 44%、80 歳以上では約 18%と、年代が高いほど保有している人が少なくなっている。

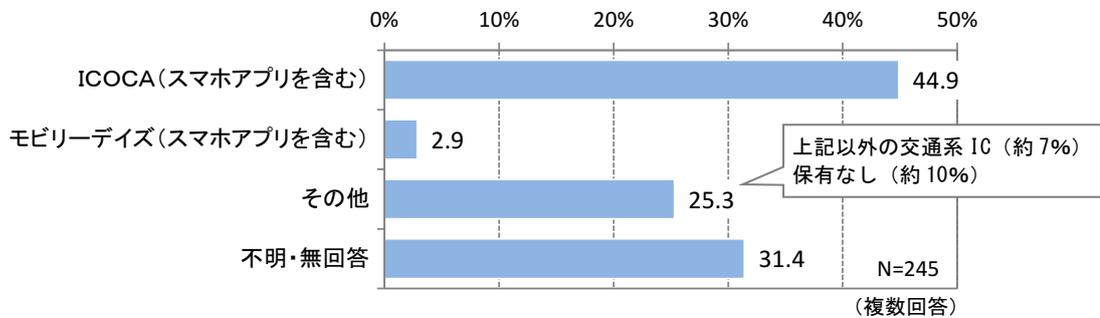


図 交通系 IC カードの保有状況<こいこいバス>

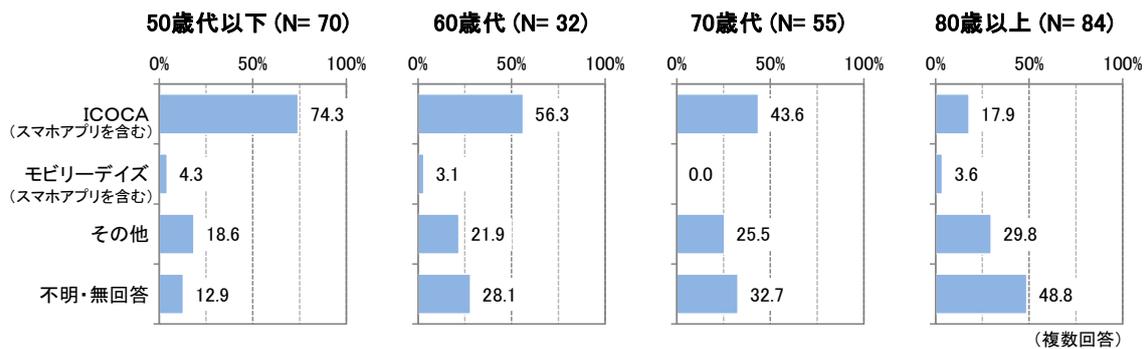


図 交通系 IC カードの保有状況 (年齢別) <こいこいバス>

質問2 普段のこいこいバスの利用について

①こいこいバスの利用頻度

質問2①「こいこいバス」をどの程度利用しますか。(1つに○)

○「週に1～2日」が26.5%で最も多く、次いで「週に3～4日」が25.3%となっており、『週1日以上』（「概ね毎日」～「週に1～2日」の合計）利用している人が約63%を占めている。
○平成30年調査と比べると、『週1日以上』の割合が5.7ポイント減少している。

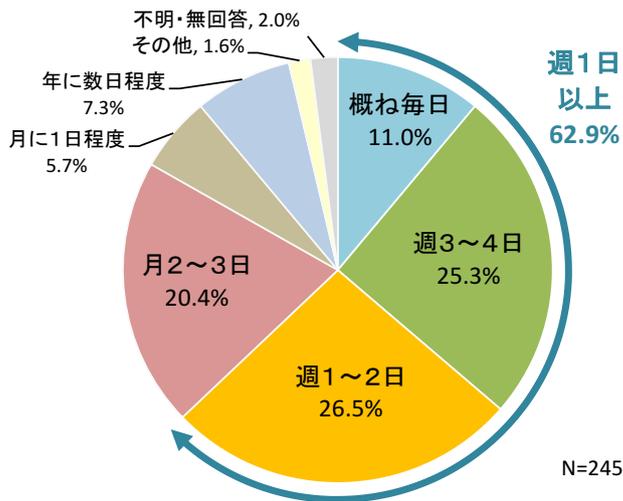


図 こいこいバスの利用頻度

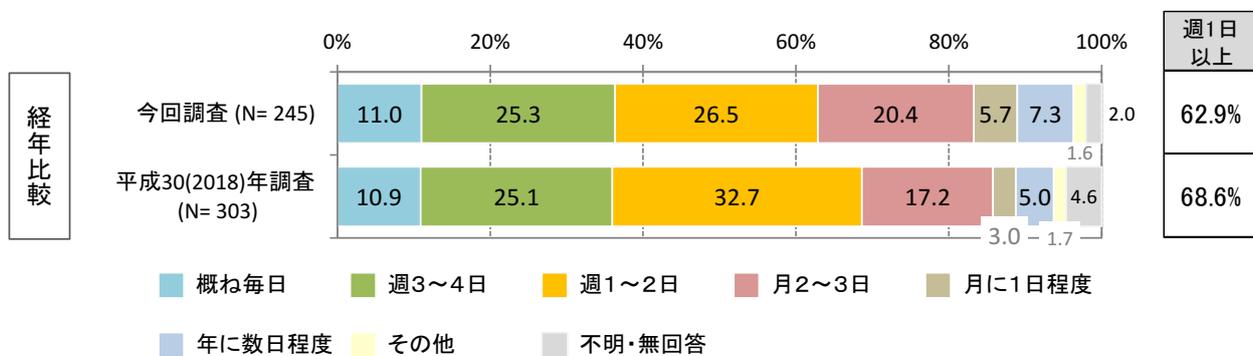


図 こいこいバスの利用頻度 [経年比較]

②こいこいバスの主な利用目的

質問 2② 「こいこいバス」を利用するときの主な目的は何ですか。(2つまでに○)

○「買い物」が60.8%で最も多く、以下「通院・看護」(41.6%)、「通勤」(23.7%)と続いている。
 ○利用目的別の利用頻度をみると、「通勤」では週3～4日が約41%、概ね毎日が31%となっており、利用頻度が高い。一方、「買い物」、「通院・看護」、「趣味・娯楽」、「市役所・図書館・公民館等の利用」では週1～2日の割合が最も多い。

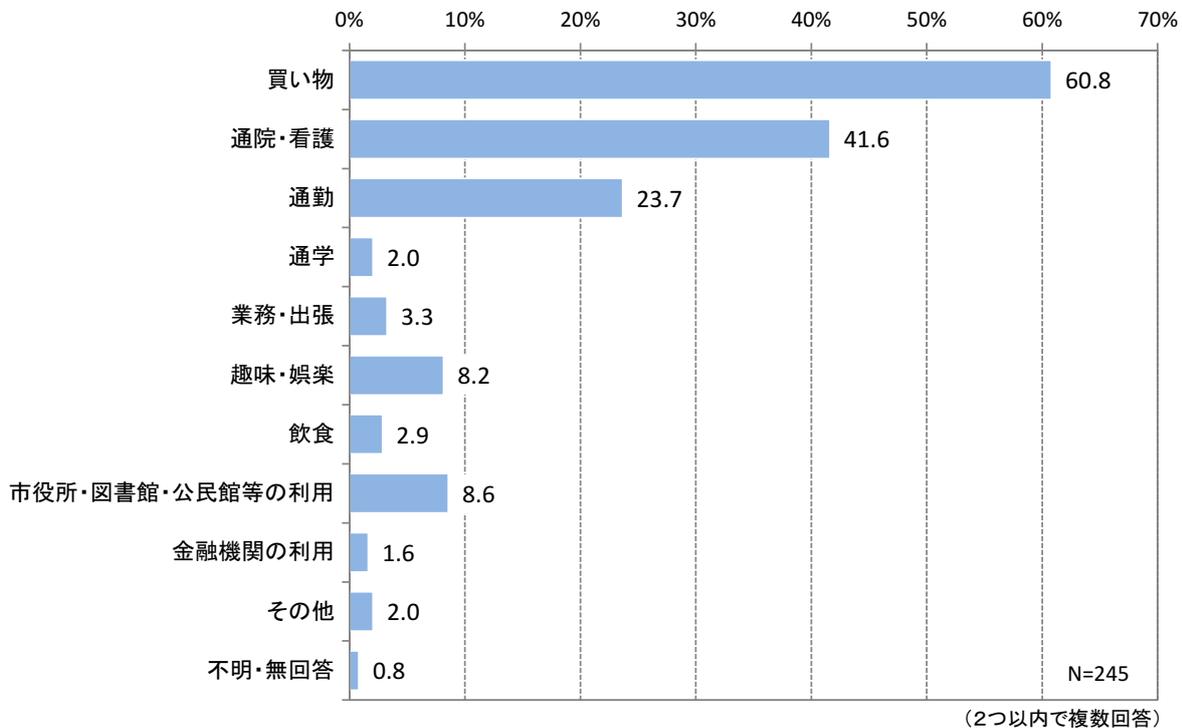


図 こいこいバスの主な利用目的

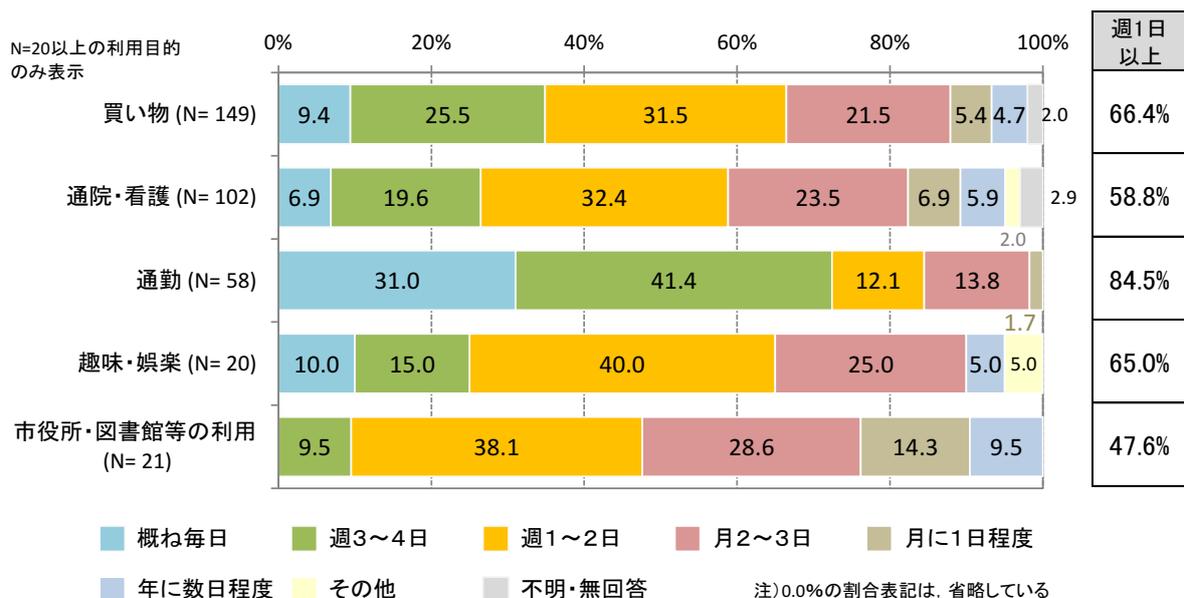


図 こいこいバスの主な利用目的の利用頻度 (*N=20以上の利用目的のみ)

③こいこいバスを利用してよく訪れる目的地（複数回答）

質問2③「こいこいバス」を利用して、訪れる目的地（行き先）はどこですか。（1箇所だけ）
 ※鉄道に乗り継いで目的地へ行く方は、「大竹駅」、「玖波駅」のいずれかをお書きください。

○目的地は「ゆめタウン大竹」が最も多く、約48%を占めている。次いで、「広島西医療センター」が多い。

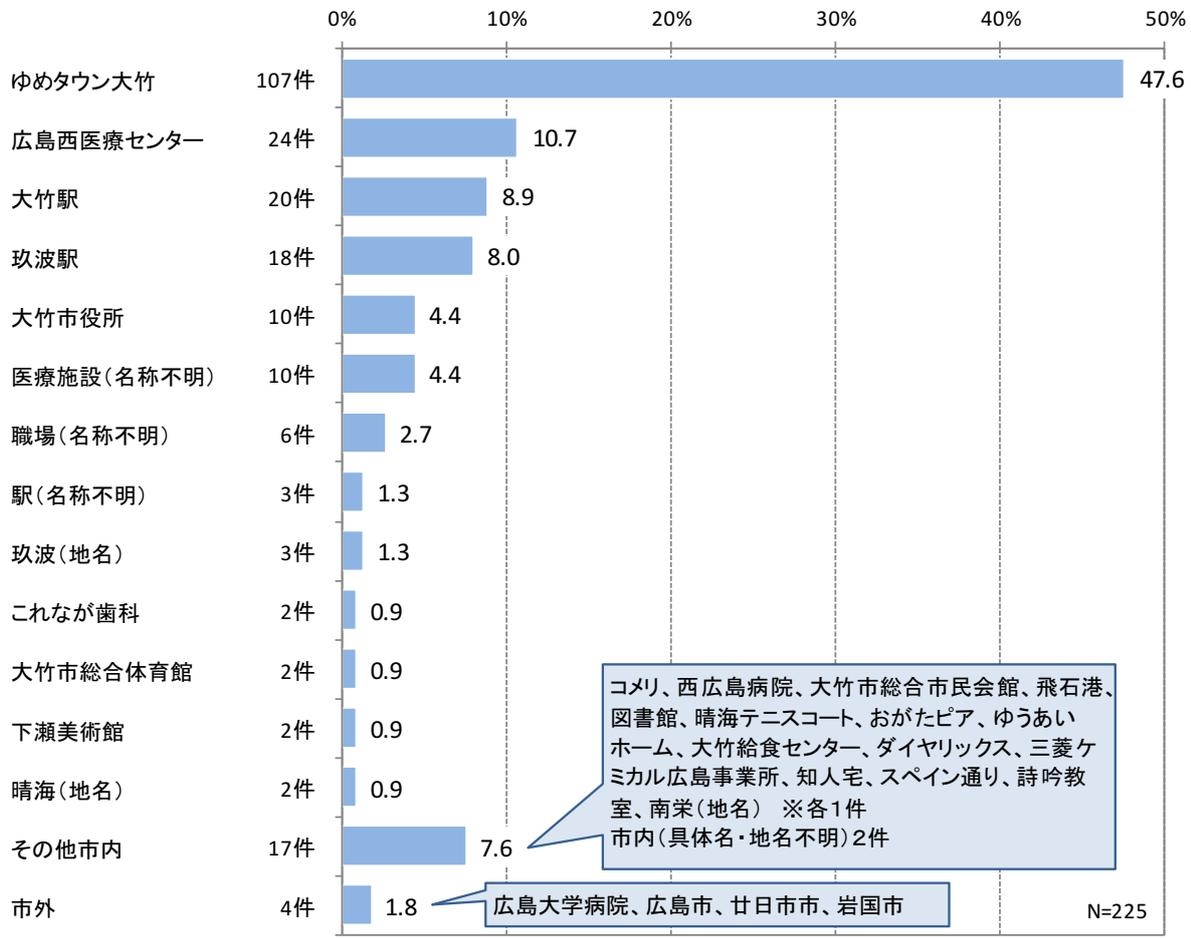


図 こいこいバスを利用してよく訪れる目的地

④こいこいバスで利用の多いバス停

質問2④どこの「バス停」から、どこの「バス停」までの利用が多いですか。(記述回答)

- 自宅に近いバス停は、「大竹駅」が25.3%で最も多く、次いで「玖波駅」(19.6%)となっている。行き先に近いバス停は「ゆめタウン」が約6割を占めている。
- 利用が多い区間は、「大竹駅→ゆめタウン」、「玖波駅→ゆめタウン」である。

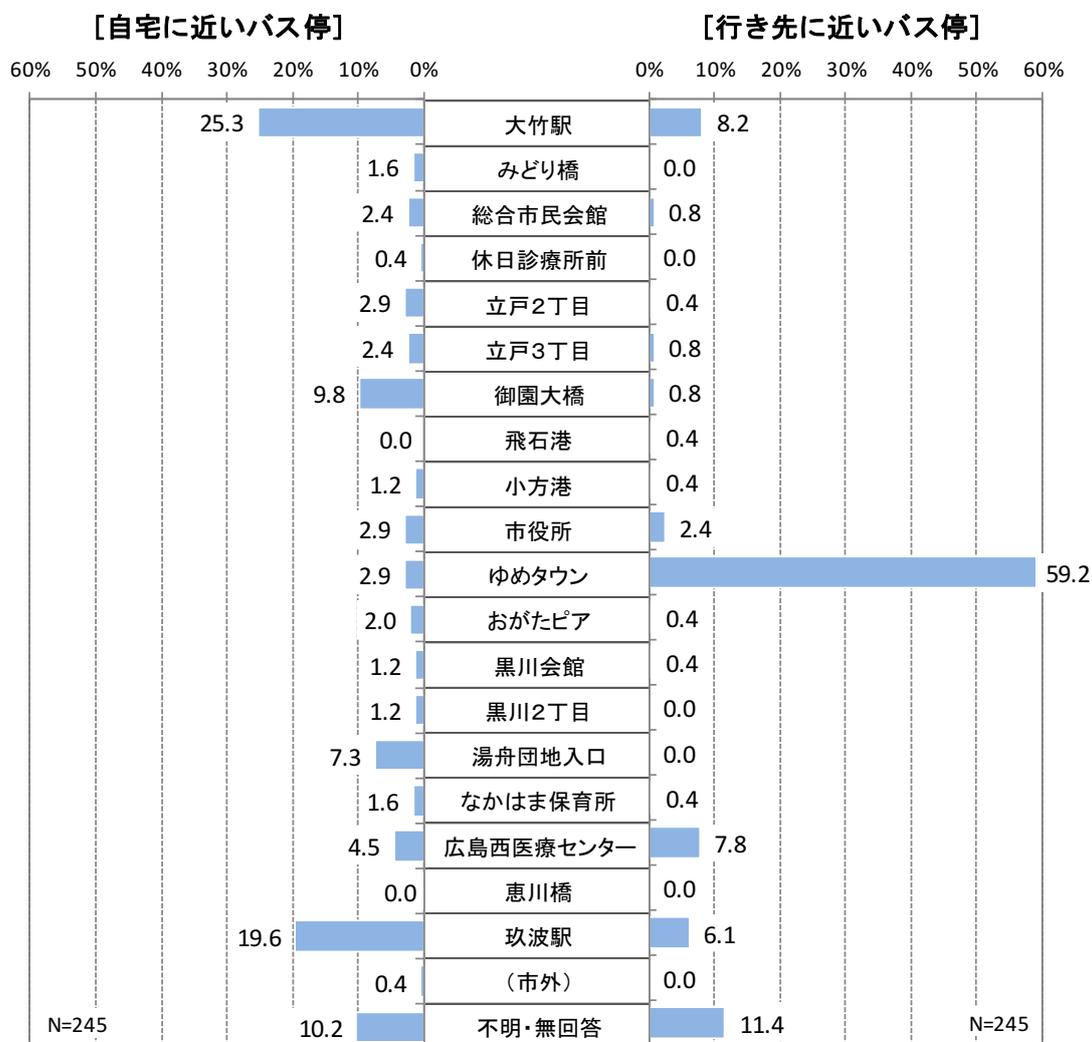


図 こいこいバスで利用の多いバス停

表 主な利用区間 (5件以上)

自宅に近いバス停		行き先に近いバス停	回答件数
大竹駅	→	ゆめタウン	41件
玖波駅	→	ゆめタウン	37件
湯舟団地入口	→	ゆめタウン	15件
大竹駅	→	広島西医療センター	14件
御園大橋	→	ゆめタウン	9件
広島西医療センター	→	ゆめタウン	8件
御園大橋	→	大竹駅	5件
御園大橋	→	玖波駅	5件

⑤今後のこいこいバスの利用意向

質問2 ⑤今後も、「こいこいバス」を利用しますか。(1つに○)

○「つづけて利用する」が93.9%で最も多く、9割以上が今後も利用の意向を示している。

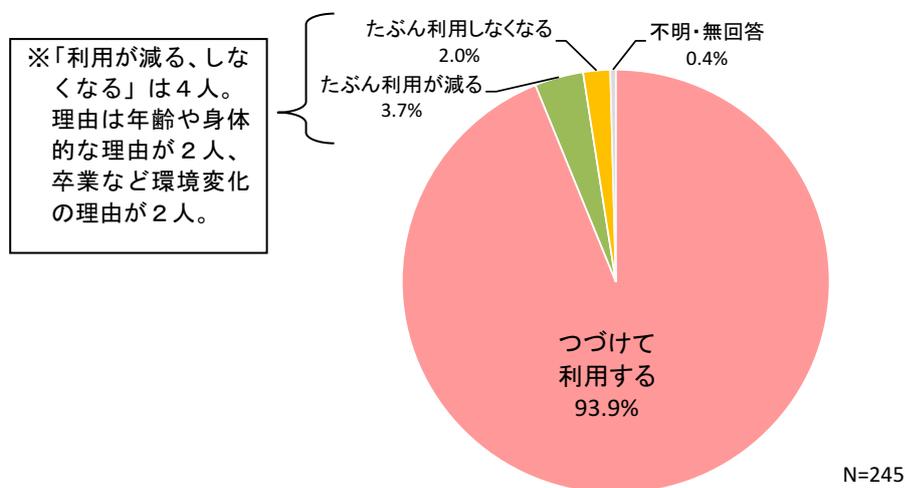


図 今後のこいこいバスの利用意向

質問3 こいこいバスの満足度や要望について

①こいこいバスの満足度

質問3 ①「こいこいバス」の満足度について教えてください。

(各項目で、あてはまるものそれぞれ1つに○)

- 総合的な満足度は、『満足』（「非常に満足」と「満足」の合計）割合は約64%となっており、『不満』（「不満」と「非常に不満」の合計）の割合を大きく上回っている。
- 平成30年調査と比較すると、『満足』が5.7ポイント増加し、『不満』が4.2ポイント減少している。
- 項目にみると、『満足』の割合が最も高いのは「乗務員の対応」で72.7%、次いで「到着時間の正確さ」が66.9%となっている。一方、『不満』の割合が最も高いのは「運行便数」で24.5%となっている。

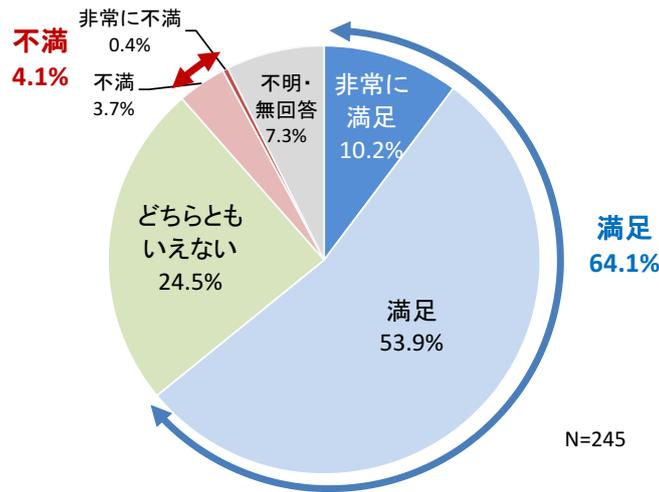


図 こいこいバスの総合的な満足度

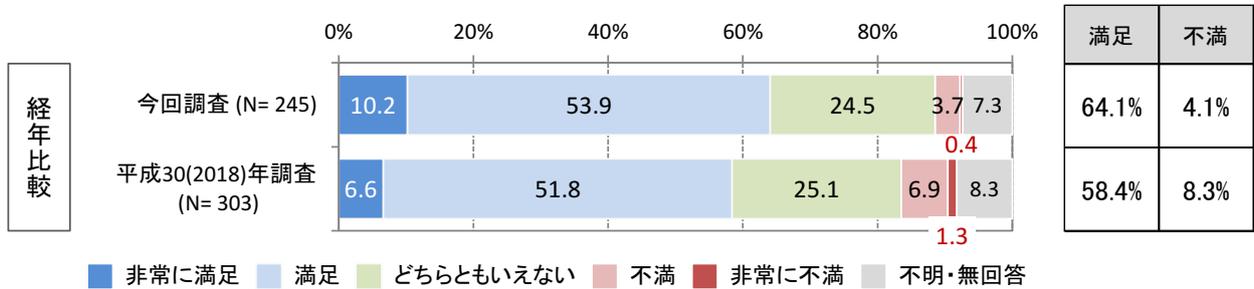


図 こいこいバスの総合的な満足度 [経年比較]

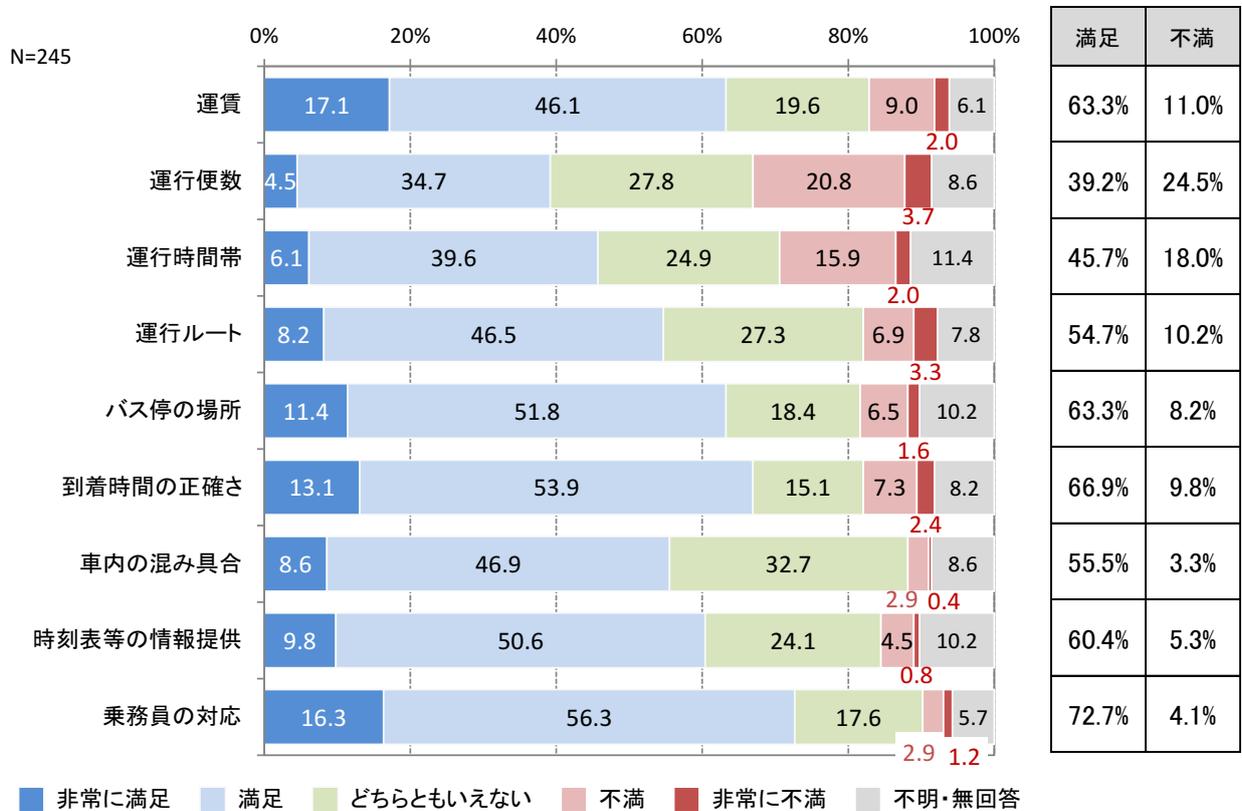


図 こいこいバスの満足度 [項目別]

②こいこいバスの停留所の追加要望

質問3②「こいこいバス」の「停留所」を追加してほしい場所がありますか。

○「停留所」を追加してほしい場所が「ある」は18.0%となっている。

○追加してほしい具体的な場所は下表のとおり。

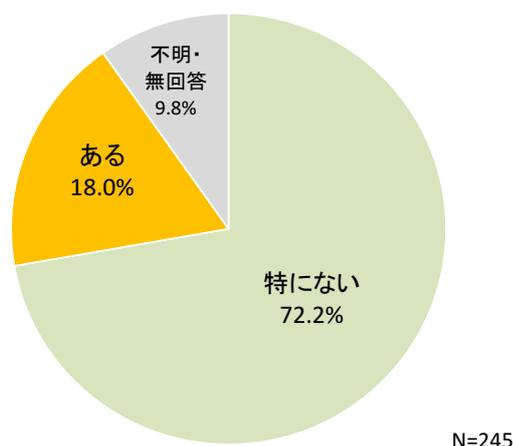


図 こいこいバスの「停留所」の追加要望

表 こいこいバスの「停留所」を追加してほしい場所（自由記述）

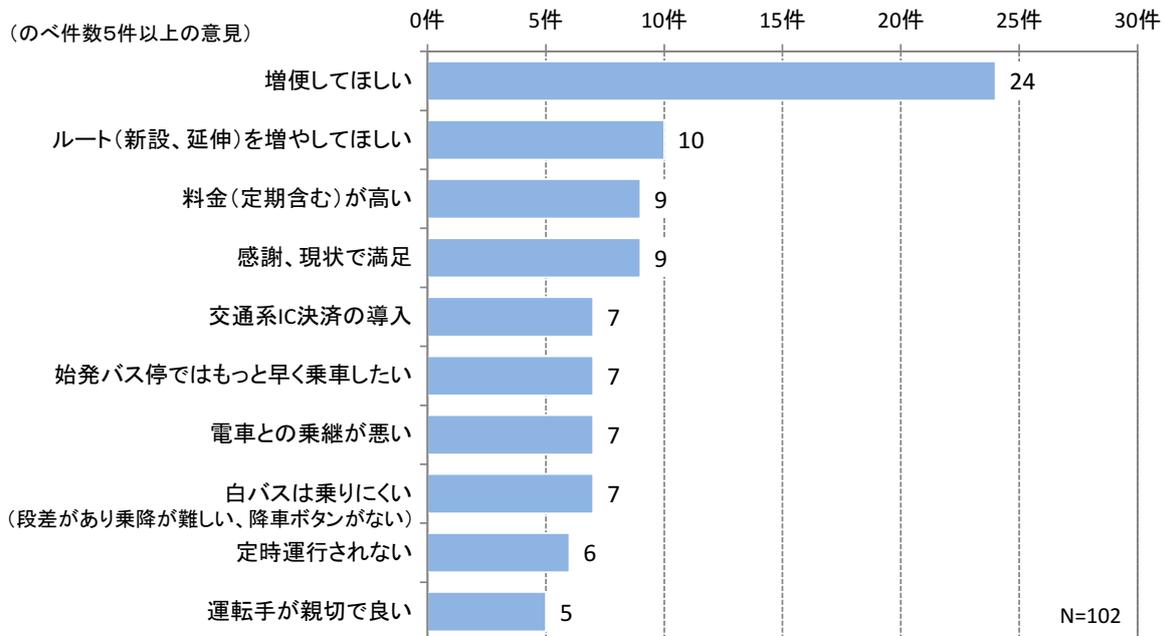
居住地域	「停留所」を追加してほしい場所	居住地域	「停留所」を追加してほしい場所	
大竹地域(西)	大竹駅→元町方面	小方地域	御園6号アパート	
	大竹支所		御園台、小方ヶ丘	
	白石		御園ハイランド、御園台	
	白石地区		三ツ石方面	
	白石方面		湯舟団地公園	
	本町、新町		ゆめタウンの裏	
	元町～本町		玖波駅方面行き ゆめタウンとおがたピアの間	
	大和橋から上って中津原方面に通して		玖波地域	青木線(中学校の下)
	ゆめタウン裏側		玖波8丁目	
下瀬美術館	玖波8丁目まで運行してほしい			
大竹地域(東)	三ツ石	玖波保育所、大歳神社前、玖波駅裏に止めて		
	美術館に行く方が休日のシャトルバスを利用できないときの対応を	美術館に行く方が休日のシャトルバスを利用できないときの対応を		
小方地域	”おがたピア”の大竹駅方面の乗降場をおがたピア側に	しまむら側裏側		
	小方1丁目	八丁目		
	小方ヶ丘	市内(地域不明)	アゼリア	
	亀居城付近	小方が丘		
	下りの小方ピアをもっと手前に	西栄側の運行があればいい		
	車が通れる坂道は入って	大竹市外	小方ヶ丘	
	セリア、ゆめマート	玖波7丁目団地		
	団地の中	国道2号線のみどり橋		
	西マート、大竹小学校	御園台の団地の中にひとつ		

③こいこいバスへの要望

質問3③「こいこいバス」に欲しい機能・設備、不満に思う内容、ご要望等をご記入ください。

○102名からのべ133件の意見があげられた。

○増便への要望が最も多く、その他、ルート（新設、延伸）への要望、料金が低い、感謝・現状で満足などの意見も多かった。



のべ件数	その他の意見内容 (のべ件数4件以下)
4件	<ul style="list-style-type: none"> 手押し車や荷物等の置き場所がほしい 最終便を遅くしてほしい
3件	<ul style="list-style-type: none"> 安全運転をしてほしい バス停を増やしてほしい 運転手の対応が良くない(冷たい、運転中に携帯電話使用)
2件	<ul style="list-style-type: none"> 免許返納者・高齢者に料金割引がほしい 両替機を早く修理してほしい バス停環境の改善(屋根) 快速便を導入してほしい
1件	<ul style="list-style-type: none"> 自動音声案内の導入 狭い道路を通るルートは危険 回数券並みの割引ありの交通系IC決済 乗り心地が良くない 座席を広くしてほしい 車内がたばこ臭い 定期券・回数券を市役所・支所で販売してほしい 空調管理が良くない 運行状況(現在地表示)がわかるシステムがほしい 一時停止が多すぎる 停留所の位置を変更してほしい 市役所停留所付近で回るのが気持ち悪い 始発便を早くしてほしい 料金が安価で良い ゆめタウンで発行されるバス券の使用ルール決め(不正利用あり) アンケートをとっても何も改善されない アンケート配布者への不満

図 こいこいバスへの要望等 (自由記述)

路線バス『大竹・栗谷線バス』利用者アンケート調査

「大竹・栗谷線バス」の利用状況やご要望などをお聞きするため、利用されている方にアンケート調査を実施いたします。ご面倒をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年10月 大竹市地域公共交通活性化協議会・大竹市

■アンケートの回収方法

ご記入が済んだアンケートは **10月21日(月)** までに、返信用封筒に入れて返却をお願いします。

- ① 「バス(栗谷線)」車内の回収箱へ
- ② 「大竹市役所(正面玄関ロビー ※閉庁時は南玄関 宿直室前)」や
「各支所(大竹、玖波、栗谷)」の回収箱へ
- ③ 「郵便ポスト」への投函
- ④ WEBでの回答

お手持ちのスマートフォンから右記のQRコードを読み込んで回答できます。(その場合、紙の調査票の返却は不要です)



Web回答はコチラから

■問い合わせ先

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大竹市 市民生活部 自治振興課 [TEL: 0827-59-2142]

なお、このアンケートは、上記の目的以外に使用することはありません。

【質問1】あなたご自身のことについておたずねします

①性別(1つに○)	1. 男性	2. 女性	3. 無回答	
②年齢(1つに○)	1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上
③世帯構成(1つに○)	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯(親と子)	
	4. 三世帯(親と子と孫)	5. その他()		
④ご職業(1つに○)	1. 会社員・公務員	2. 自営業・自由業	3. 専業主婦・主夫	
	4. 小学生	5. 中学生	6. 高校生	
	7. 大学生・専門学校生	8. アルバイト・パート	9. 無職	
	10. その他()			
⑤お住まい	1. 大竹市内()	2. 大竹市外()	市・町	
	(例えば、玖波1丁目、松ヶ原町など)			
⑥運転免許の保有(あてはまるもの全てに○)	1. 自動車運転免許	2. 二輪免許	3. 原付免許	4. 持っていない
	5. 返納した			
⑦自家用車の保有(あてはまるもの全てに○)	1. 主に自分が使う自家用車がある	2. 主に家族が使う自家用車がある		
	3. 自家用車はない			

ウラ面に進んでください

路線バス『坂上線バス』利用者アンケート調査

「坂上線バス」の利用状況やご要望などをお聞きするため、利用されている方にアンケート調査を実施いたします。ご面倒をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年10月 大竹市地域公共交通活性化協議会・大竹市

■アンケートの回収方法

ご記入が済んだアンケートは **10月21日(月)** までに、返信用封筒に入れて返却をお願いします。

- ① 「バス（坂上線）」車内の回収箱へ
- ② 「大竹市役所（正面玄関ロビー ※閉庁時は南玄関 宿直室前）」や
「各支所（大竹、玖波、栗谷）」の回収箱へ
- ③ 「郵便ポスト」への投函
- ④ WEB での回答

お手持ちのスマートフォンから右記のQRコードを読み込んで回答できます。（その場合、紙の調査票の返却は不要です）



Web 回答はコチラから

■問い合わせ先

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大竹市 市民生活部 自治振興課 [TEL: 0827-59-2142]

なお、このアンケートは、上記の目的以外に使用することはありません。

【質問1】あなたご自身のことについておたずねします

①性別（1つに○）	1. 男性	2. 女性	3. 無回答	
②年齢（1つに○）	1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上
③世帯構成（1つに○）	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯（親と子）	
	4. 三世帯（親と子と孫）	5. その他（	）	
④ご職業（1つに○）	1. 会社員・公務員	2. 自営業・自由業	3. 専業主婦・主夫	
	4. 小学生	5. 中学生	6. 高校生	
	7. 大学生・専門学校生	8. アルバイト・パート	9. 無職	
	10. その他（		）	
⑤お住まい	1. 大竹市内（	）	2. 大竹市外（	市・町）
	（例えば、木野1丁目、防鹿など）			
⑥運転免許の保有（あてはまるもの全てに○）	1. 自動車運転免許	2. 二輪免許	3. 原付免許	4. 持っていない
	5. 返納した			
⑦自家用車の保有（あてはまるもの全てに○）	1. 主に自分が使う自家用車がある	2. 主に家族が使う自家用車がある		
	3. 自家用車はない			

ウラ面に進んでください

【質問2】 普段の坂上線バスのご利用についておたずねします

①「坂上線」をどの程度利用しますか。 (1つに○)	1. 概ね毎日 4. 月2～3日 7. その他 ()	2. 週3～4日 5. 月に1日程度	3. 週1～2日 6. 年に数日程度
②「坂上線」を利用するときの主な目的は何ですか。(2つまでに○)	1. 買い物 5. 業務・出張 9. 市役所・図書館・公民館等の利用 11. その他 ()		
③「坂上線」を利用して、訪れる目的地(行き先)はどこですか。 (1箇所だけ) ※大竹駅で、鉄道に乗り継いで目的地へ行く方は、「大竹駅」とお書きください。	■目的地 () ■目的地の所在地 ()市 ()丁目・町 ※「所在地」は、分かる範囲で記入して下さい。「やまと病院」など、施設名から所在地が分かる場合は「所在地」の記入は不要です。		
④この「バス停」から、どの「バス停」までの利用が多いですか。	ご自宅に近い方のバス停名 〔 〕	行き先に近い方のバス停名 〔 〕	
⑤ご自宅から、最寄りの「坂上線」のバス停までの距離は？(1つに○)	1. おおよそ徒歩で3分以内 2. おおよそ徒歩で5分以内 3. おおよそ徒歩で10分以内 4. おおよそ徒歩で20分以内 5. おおよそ徒歩で30分以内 6. 徒歩だと30分を超える		
⑥今後も、「坂上線」を利用しますか。 (1つに○)	1. つづけて利用する 2. たぶん利用が減る → 3. たぶん利用しなくなる→		

それはなぜですか？

【質問3】 坂上線バスの満足度などに関しておたずねします

①「坂上線」の満足度について教えてください。(1つに○)

1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらともいえない 4. 不満 5. 非常に不満

②「坂上線」を不満に思う内容やご要望などがあれば、具体的にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

令和6年度『こいこいバス』利用者アンケート調査

平成21年10月に誕生した「こいこいバス」は、多くの人に利用され、今では市の大切な公共交通に成長しました。

今後も「こいこいバス」が、皆様の生活に役立つ移動手段であり続けるために、利用されている方のご意見をお聞きするアンケート調査を実施いたします。

ご面倒をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年10月 大竹市地域公共交通活性化協議会・大竹市



■アンケートの回収方法

ご記入が済んだアンケートは **10月21日(月)** までに、返信用封筒に入れて返却をお願いします。

- ① 「こいこいバス」車内の回収箱へ
- ② 「大竹市役所（正面玄関ロビー ※閉庁時は南玄関 宿直室前）」や
「各支所（大竹、玖波、栗谷）」の回収箱へ
- ③ 「郵便ポスト」への投函
- ④ WEBでの回答

お手持ちのスマートフォンから右記のQRコードを読み込んで回答できます。（その場合、紙の調査票の返却は不要です）



Web回答はコチラから

■問い合わせ先

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大竹市 市民生活部 自治振興課 【TEL: 0827-59-2142】

なお、このアンケートは、上記の目的以外に使用することはありません。

【質問1】あなたご自身のことについておたずねします

①性別（1つに○）	1. 男性	2. 女性	3. 無回答
②年齢（1つに○）	1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代
			8. 80歳以上
③世帯構成（1つに○）	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯（親と子）
	4. 三世帯（親と子と孫）	5. その他（	）
④ご職業（1つに○）	1. 会社員・公務員	2. 自営業・自由業	3. 専業主婦・主夫
	4. 小学生	5. 中学生	6. 高校生
	7. 大学生・専門学校生	8. アルバイト・パート	9. 無職
	10. その他（		）
⑤お住まい	1. 大竹市内（	2. 大竹市外（	市・町）
	（例えば、小方2丁目、三ツ石町など）		
⑥運転免許の保有（あてはまるもの全てに○）	1. 自動車運転免許	2. 二輪免許	3. 原付免許
	5. 返納した	4. 持っていない	
⑦自家用車の保有（あてはまるもの全てに○）	1. 主に自分が使う自家用車がある	2. 主に家族が使う自家用車がある	
	3. 自家用車はない		
⑧交通系ICカードの保有（あてはまるもの全てに○）	1. I COCA（スマホアプリを含む）	2. モビリーデイズ（スマホアプリを含む）	
	3. その他（		）

ウラ面に進んでください

【質問2】 普段のこいこいバスのご利用についておたずねします

①こいこいバスをどの程度利用しますか。 (1つに○)	1. 概ね毎日 4. 月2～3日 7. その他 ()	2. 週3～4日 5. 月に1日程度	3. 週1～2日 6. 年に数日程度
②こいこいバスを利用するときの主な 目的は何ですか。(2つまでに○)	1. 買い物 2. 通院・看護 3. 通勤 4. 通学 5. 業務・出張 6. 趣味・娯楽 7. 飲食 8. 市役所・図書館・公民館等の利用 9. 金融機関の利用 10. その他 ()		
③こいこいバスを利用して、訪れる 目的地(行き先)はどこですか。 (1箇所だけ) ※鉄道に乗り継いで目的地へ行く方は、「大竹 駅」、「玖波駅」のいずれかをお書きください。	■目的地 () ■目的地の所在地 ()市 ()丁目・町 ※「所在地」は、分かる範囲で記入して下さい。「大竹市役所」など、施設名から所在地が分かる場合は「所在地」の記入は不要です。		
④どこの「バス停」から、どこの「バス停」 までの利用が多いですか。	ご自宅に近い方のバス停名 []	行き先に近い方のバス停名 []	
⑤今後も、こいこいバスを利用しますか。 (1つに○)	1. つづけて利用する 2. たぶん利用が減る → 3. たぶん利用しなくなる→		それはなぜですか? []

【質問3】 こいこいバスの満足度などに関しておたずねします

①「こいこいバス」の満足度について教えてください。(各項目で、あてはまるものそれぞれ1つに○)

	非常に満足	満足	どちらとも いえない	不満	非常に不満
ア) 運賃 ⇒	1	2	3	4	5
イ) 運行便数 ⇒	1	2	3	4	5
ウ) 運行時間帯 ⇒	1	2	3	4	5
エ) 運行ルート ⇒	1	2	3	4	5
オ) バス停の場所 ⇒	1	2	3	4	5
カ) 到着時間の正確さ ⇒	1	2	3	4	5
キ) 車内の混み具合 ⇒	1	2	3	4	5
ク) 時刻表等の情報提供 ⇒	1	2	3	4	5
ケ) 乗務員の対応 ⇒	1	2	3	4	5
コ) 総合的な満足度 ⇒	1	2	3	4	5

②こいこいバスの「停留所」を追加してほしい場所がありますか。

1. 特にない 2. ある (追加して欲しい場所)

③「こいこいバス」に欲しい機能・設備、不満に思う内容、ご要望等をご記入ください。

[]

ご協力ありがとうございました。

